SHARP

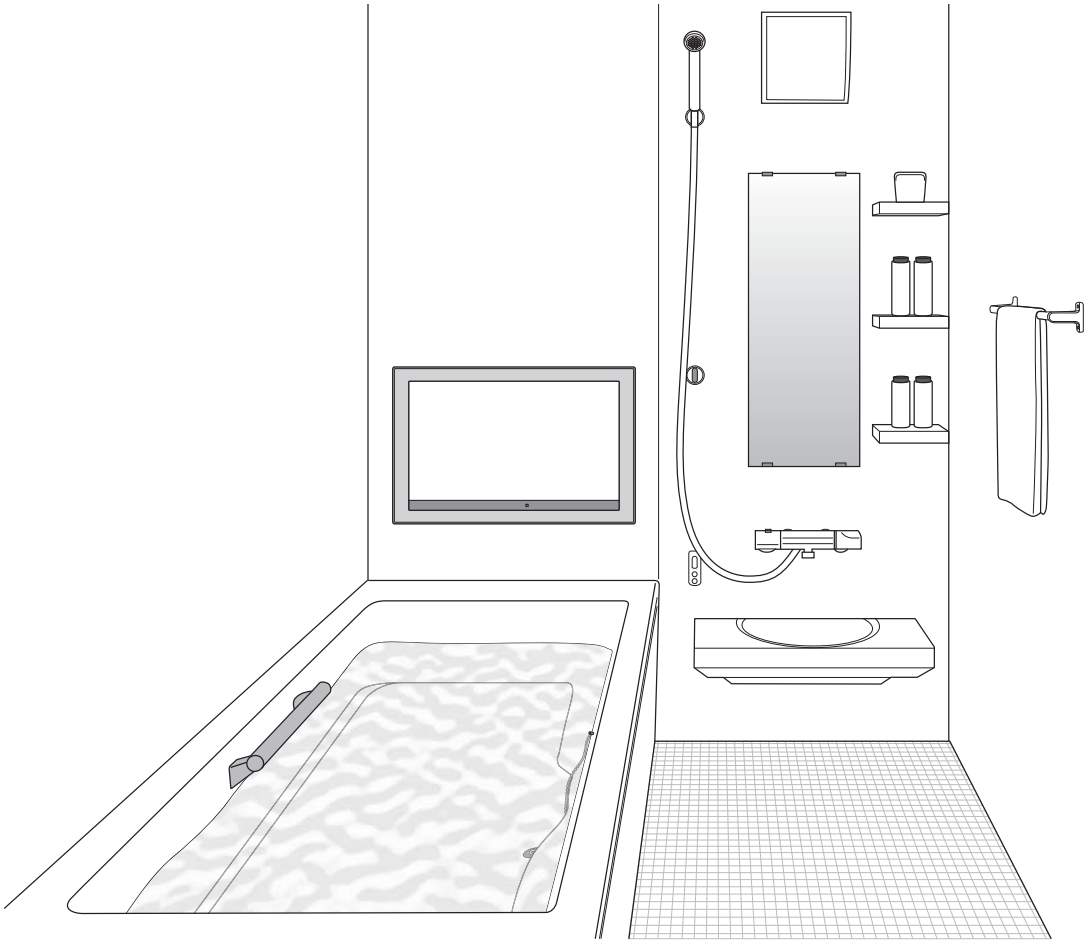
取扱説明書

浴室テレビ

形　名

ビー ティー ブイ　ディー

BTV-3200D



お買いあげいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

- ご使用前に「安全上のご注意」（4ページ）を必ずお読みください。
- この取扱説明書は、保証書とともにいつでも見ることができるところに必ず保存してください。
- 本製品の浴室テレビ本体には「特別内蔵用 B-CASカード」を内蔵しています。10ページの「B-CASカード使用許諾契約約款」をお読みいただき、11ページの操作を行って約款への同意操作を行ってください。

※転居される場合、次に入居される方にこの取扱説明書をお渡しください。

もくじ

- 本書に掲載している画面表示やイラストは説明用のものであり、実際の表示とは多少異なります。
- 本機を廃棄する場合は、個人情報の消去（初期化）をお願いします。（⇒ **29** ページ）

もくじ／付属品／ご注意／各部のなまえ

もくじ……2
付属品……3
安全上のご注意……4
使用上のご注意……9
B-CASカード使用許諾契約約款(KBO007D)……10
本体各部やリモコンボタンのなまえ……12

ふだんの使いかた

ふだんの使いかた……15
番組表を見る……16
視聴中の便利な機能……19
タイマー機能を使う……23
テレビ音声をフルデジタルサウンドシステムのスピーカーで聞く……25

メニュー操作

ホームメニューの使いかた……26
メニュー項目の一覧と使いかた……28
メニュー項目に関するおしらせ……32
文字を入力する(ソフトウェアキーボード)……34

双方向通信／ホームネットワーク

双方向通信／ホームネットワークの準備をする……36
ホームネットワークで映像・写真・音楽を楽しむ……38

個別設定／放送の種類について

放送の種類について……47
「かんたん初期設定」をする……48
デジタル放送の受信の設定を個別に行うときは……50

故障かな？／エラーメッセージ

故障かな？と思ったら……53
放送が受信できないときに確かめること……54
エラーメッセージが出たら……60
こんなときは……64

お役立ち情報(仕様や索引)

おもな仕様について……65
保証とアフターサービス……66
お客様ご相談窓口のご案内……67
本機で使用している特許など……68
用語の解説……71
索引……72

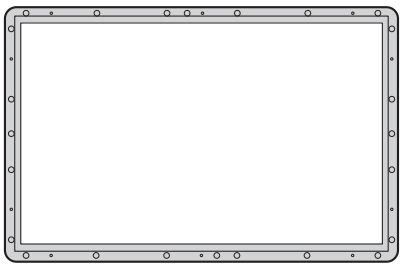
English Guide

Part Names ……74
Switching the Display Language to English
　ホームメニューなどの言語を英語にする ……75

付属品

設置する前に付属品をご確認ください。

BTV-3200D-1（テレビ本体）

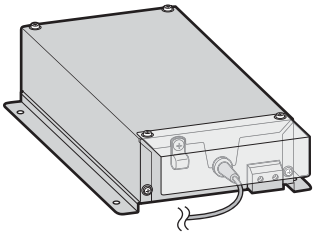


- お知らせシート
- 保証書※1（テレビ本体）

※2 取扱説明書は電源ボックス「BTV-3200D-2」に同梱しています。

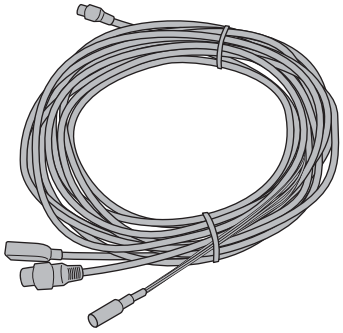
- スピーカーシステムは本機の付属品ではありません。ユニットバスルームの装備品です。

BTV-3200D-2（電源ボックス）



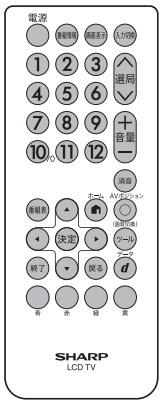
注意：付属の電源ボックスはテレビ本体専用です。他の機器には使用しないでください。

- 設置用中継ケーブル



- 取扱説明書※2
- 配線注意チラシ
- 保証書※1（電源ボックス）

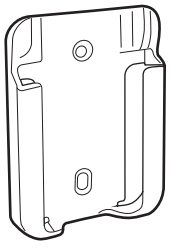
- リモコン



- リモコン用ボタン電池（CR2032）

- 電池を交換する際は、日立マクセル製コイン型リチウム電池（CR2032）とお取り替えください。

- リモコンホルダー



- リモコンホルダーの取り付けは⇒ **14** ページをご覧ください。

設置工事業者様へ

※1 製造番号は品質管理上重要なものですから、商品本体に表示されている製造番号と、保証書に記載されている製造番号とが一致しているか、お確かめのうえ保証書をお客様にお渡しください。

安全上のご注意

本機をお使いになる前に必ず読み、正しく安全にお使いください。

- この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、つぎのように区分しています。
- 内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

⚠ 警告	人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。
⚠ 注意	人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味

- ⚠ 気をつける必要があることを表しています。
- 🚫 してはいけないことを表しています。
- ❗ しなければならないことを表しています。

⚠警告

設置は、必ず専門の設置工事業者に依頼する

指示

- 設置は、適切な設置規則に従って行う必要があります。設置は、必ず指定された設置工事業者にて行ってください。お客様自身による設置は行わないでください。

テレビ・リモコンを分解したり、改造したりしない

分解禁止

- サービスマン以外の方は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。発火したり、異常作動してケガをするおそれがあります。異常のまま運転を続けると、火災や漏電のおそれがあります。内部の点検、修理はお買い求めの取扱店にご依頼ください。

化粧枠や画面にひび割れなど破損が生じた場合は使用を中止する

- 防水機能が損なわれ、そのまま使用すると火災・感電の原因となります。お買い求めの取扱店にご連絡ください。

煙やにおい、音などの異常が発生したら、屋内開閉器（ブレーカー）の電源を「切」にして、お買い求めの取扱店にご連絡ください

- 異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。修理をお買い求めの取扱店に依頼してください。
- お客様自身による修理は絶対におやめください。

内部に水や異物、または虫などが入ったときは

- そのまま使用すると火災・感電の原因となります。お買い求めの取扱店にご連絡ください。

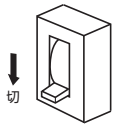
火災・感電防止のために

使用禁止

- テレビ本体にひび割れなどの破損が生じた場合は、防水機能が損なわれるおそれがありますので、そのまま使用しないでください。

雷が発生したときはすみやかに運転を停止し、屋内開閉器（ブレーカー）の電源を「切」にしてください。

指示



ぬれ手禁止

- そのまま使用すると、雷による一時的な過電流で、感電のおそれがあります。
- そのまま使用すると、雷による一時的な過電流で、電子部品の破損の原因となる場合があります。
- また、感電のおそれがありますので、濡れた手で屋内開閉器（ブレーカー）を触らないでください。

⚠警告

コイン型リチウム電池の取り扱いについて

電池を交換するときは、日立マクセル製のコイン型リチウム電池（CR2032）をご使用ください。

指示

- 指定以外の電池をご使用になった場合には、電池の破裂、液漏れによる火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

電池を火の中に入れたり、加熱したりしない

禁止

- 破損して事故の原因となります。

電池を使い切ったときや、長時間使わないときは、電池を取り出す

指示

- 電池を入れたままにしておくと、電池が液漏れする恐れがあります。この液が皮膚や衣服についたら、水道水などきれいな水で洗い流してください。万一、液が目に入ったときは、失明など障害のおそれがありますので、こすらずに多量の水道水などのきれいな水で充分に洗った後、すぐに医師の治療を受けてください。

電池は、乳幼児の手の届かない所に置く

指示

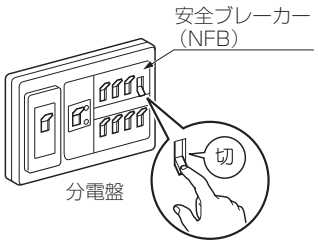
- 誤って飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となります。万一、飲み込んだと思われる場合は、直ちに医師にご相談ください。

破損防止のため必ず行うこと

浴室周辺で異臭や異常音がする場合は、電気器具のスイッチおよび分電盤の安全ブレーカーを切り、すみやかに修理を依頼してください。

指示

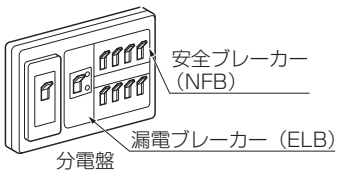
- 異常のまま運転を続けると、火災や漏電のおそれがあります。



浴室の電気器具とつながった分電盤のブレーカーが作動した場合は、使用を中止し、すみやかに修理を依頼してください。

指示

- 浴室の電気器具などに異常があるおそれがあります。作動したブレーカーを入れ直してご使用を続けた場合、火災や漏電などの重大事故の原因となるおそれがあります。



化粧枠を取り外したり、傷つけたり、シーリング材を傷つけたり、はがしたりしない。

禁止

- 防水機能が損なわれ、火災・感電・故障の原因になります。修復は、お買い求めの取扱店にご相談ください。

次のページに続く

⚠注意

免責事項

お客様もしくは第三者がこの製品の使用を誤ったことにより生じた故障、不具合、またはそれらに基づく損害については、法令上の責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

健康のために、次のことをお守りください

- 連続して使用する場合は、1時間ごとに10分～15分の休憩を取り、目を休ませてください。
- 浴室内を明るくして、適度な距離でご覧ください。
- この製品を使用しているときに身体に疲労感、痛みなどを感じたときは、すぐに使用を中止してください。使用を中止しても疲労感、痛みなどが続く場合は、医師の診察を受けてください。
- ごくまれに、強い光の刺激を受けたり点滅を繰り返す画面を見ている際に、一時的に筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす方がおられます。このような経験のある方は、本製品を使用される前に必ず医師と相談してください。また本製品を使用しているときにこのような症状が起きたときは、すぐに使用を中止して医師の診察を受けてください。

アンテナ工事は、技術経験が必要ですので販売店にご相談ください

- 送配電線の近くに設置してしまうと、アンテナが倒れた際に感電の原因となることがあります。

化粧枠や画面に衝撃を与えない（物を当てたり、押したり、先の尖ったもので突いたりしない）

- 化粧枠に傷がついたり、画面や液晶画面のパネルが割れることがあります。

内部の掃除はお買い求めの取扱店に依頼する

- 内部や通風孔にホコリをためたまま使用すると、火災や故障の原因となることがあります。内部の掃除費用については、お買い求めの取扱店にご相談ください。

お手入れのときや長期間使用しないときは、屋内開閉器（ブレーカー）の電源を「切」にする

- 感電や火災の原因となることがあります。

機器を正常に使用していただくために

- おふろをお使いになった後は、浴室内の換気を十分に行ってください。故障の原因となります。

故意に水をかけないでください

浴室内で毛染め剤やマニキュア除光液をご使用になるときは、必ずシートなどでテレビを保護してください

- 毛染め剤やマニキュア除光液などが付着すると、化粧枠や画面が変色・変形する原因となります。

画面に市販の保護フィルムなどを張らないでください

- 変色・破損などの原因になることがあります。

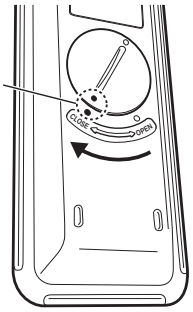
⚠注意

リモコンの取り扱いについて

電池ふたは確実にしめてください

・水が中に入ると故障の原因となります。

指示



リモコンを廃棄する際は、電池を抜いてください

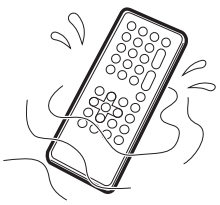
・入れたまま廃棄すると、思わぬ事故の原因となります。

落としたり衝撃を与えないでください

・故障の原因となります。

水に浮かべたり沈めたり、故意に水や洗剤をかけたりしないでください

・水が中に入ると故障の原因となります。



電池交換は水滴をよくふき取ってから行ってください

・水が中に入ると故障の原因となります。

コイン型リチウム電池の取り扱いについて

電池の液がもれたときは素手でさわらない

禁止

・電池の液が目に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。

・皮膚や衣類に付着した場合は皮膚に傷害を起こすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚の炎症など傷害の症状があるときは、医師と相談してください。

極性（プラス⊕とマイナス⊖）の向きに注意し、機器の表示どおり正しく入れる

表示どおりに入れる

・間違えると電池の破損、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

電池の入ったリモコンや電池は、直射日光の強い所や炎天下の車内などの高温の場所で使用、放置しない

禁止

・電池の液漏れ、発熱、破裂させるおそれがあります。

電池をショートさせない

禁止

・金属やピンなどでプラス⊕とマイナス⊖面を接触させてしまうなどショートさせないでください。発熱、破裂、発火させるおそれがあります。

充電しない

禁止

・充電構造になっていないので充電すると液漏れ、発熱、破裂、発火につながり危険です。

電池を変形させない

禁止

・電池を投げつけたり、高いところから落としたり、押しつぶしたりして変形させると液漏れ、破裂などを起こす場合があり、危険です。

禁止

電池を水に濡らさない
ハンダ付けしない
金属小物（かぎ・装飾品・ネックレス・コイン等）といっしょにポケットやかばんなどに入れない

次のページに続く

⚠注意

電池の廃棄について

- プラス⊕とマイナス⊖をセロハンテープで絶縁して廃棄します。各自治体によって「ゴミの捨てかた」が違います。地域の条例に従ってください。

- この製品は厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買い求めの取扱店またはお客様相談窓口まで、ご連絡ください。
- お客様もしくは第三者がこの製品の使用を誤ったことにより生じた故障、不具合、またはそれらに基づく損害については、法令上の責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

お手入れについて

たわし・硬いスポンジ・メラミンフォームスポンジ・サンドペーパーや先のとがった金属類などを使用しないでください。

- 化粧枠や画面に傷が付いたり、防水機能が損なわれる原因となります。

ステンレスクリーナーを使用しないでください。

- 化粧枠や画面が変色や変形することがあります。

お手入れに使用する洗剤は、水で薄めた台所用中性洗剤（食器・野菜洗い用）をお使いください。

本体のお手入れに、クレンザー・ラッカー・シンナー・アルコール・アセトン・ベンジンなどの有機溶液や、油脂系の洗剤、塩素系洗剤、中性以外の洗剤、みがき粉や塩酸・アンモニア・苛性ソーダなどの薬品や漂白剤を使用しないでください。

- 人体に影響が出たり、化粧枠や画面が変色・変形することがあります。

中性と表示がある洗剤でも使用後は洗い流してください。

- 長期間洗剤が付着していると、化粧枠や画面が変色や変形することがあります。

画面に水滴が付着したときは、やわらかい布で水滴をふき取ってください。

- 画面内のくもり発生の原因となります。

直接シャワーで水やお湯をかけたり、洗剤や洗浄スプレーを吹き付けたりしないでください。

- 故障や画面内のくもり発生の原因となります。

石けん・シャンプーや洗剤などがかかってしまったら、軽く絞った布でよくふき、その後、乾いたやわらかい布で水滴をふき取ってください。

- 放置すると水アカや石けんカスなどが固着し、画面が見にくくなったり、故障の原因となります。また、長時間の付着により、化粧枠や画面が変色・変形することがあります。

機器を正常に使用していただくためや、きれいな画面を保つために、定期的なお手入れと点検検査を推奨します。

- 毎日の入浴後、やわらかい布で水滴を軽くふき取り、水アカが付かないようにしておくことが理想的です。

指紋や水アカが付いてしまったら、水でうすめた中性洗剤に布をひたし、固く絞ってふき取り、その後、乾いたやわらかい布で水滴をふき取ってください。

- 放置すると水アカなどが固着し、画面が見にくくなったり、故障の原因となります。

使用上のご注意

守っていただきたいこと

お手入れのしかた

- 汚れは柔らかい布（綿、ネル等）で軽く拭きとってください。硬い布で拭いたり、強くこすったりすると、化粧枠やガラス面に傷がつきますのでご注意ください。
- 特につぎのものなどは、傷・変形・変質などの原因になりますので使用しないでください。
  - ナイロンたわし、金属のたわし、亀の子たわし、化学ぞうきんなど
- 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤にひたした柔らかい布（綿、ネル等）をよく絞って拭きとり、柔らかい乾いた布で仕上げてください。
- 特につぎの洗剤などは、表面を傷つけたり、変形・変質の原因になりますので使用しないでください。
  - アルカリ性洗剤、アルコール系洗剤、みがき粉、粉石鹸、カーワックス、ステンレスクリーナーなど

ステッカーやテープなどを貼らないでください

- 化粧枠や画面の変色や傷の原因となることがあります。

損害について

- お客さま、または第三者使用によるこの製品の誤った使用、使用中に生じた故障、その他の不具合、この製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

長期間ご使用にならないとき

- 長期間使用しないと機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて作動させてください。

- 長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず屋内開閉器（ブレーカー）を「切」にしてください。

静止画を長時間表示しないでください

- 残像の原因となることがあります。

国外では使用できません

- この製品が使用できるのは日本国内だけです。外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。(This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.)

電磁波妨害に注意してください

- 本機の近くで携帯電話、ラジオ受信機、トランシーバー、防災無線機などの電子機器を使うと、電磁波妨害などにより機器相互間での干渉が起こり、映像が乱れたり雑音が発生したりすることがあります。

アンテナについて

- 妨害電波の影響を避けるため、交通のひんぱんな自動車道路や電車の架線、送配電線、ネオンサインなどから離れた場所に立ててください。万一アンテナが倒れた場合の感電事故などを防ぐためにも有効です。
- アンテナ線を不必要に長くしたり、束ねたりしないでください。映像が不安定になる原因となりますのでご注意ください。
- アンテナは風雨にさらされるため、定期的に点検、交換することを心がけてください。美しい映像でご覧になれます。特にばい煙の多いところや潮風にさらされるところでは、アンテナが傷みやすくなります。映りが悪くなったときは、販売店にご相談ください。

B-CAS カード使用許諾契約約款 (KB0007D)

お客様がお買い求めの地上デジタルテレビジョン放送の受信機器には、デジタル放送を受信するためのICカード（B-CAS（ビーキャス）カード）（以下「カード」といいます）が内蔵されています。このカードは、株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ（以下「当社」といいます）が受信機器メーカーと契約し、受信機器メーカーにおいて、放送番組の著作権保護等に対応したデジタル放送の受信機器（一般社団法人電波産業会（ARIB）の技術的基準に適合した受信機器）に内蔵されます。
当社は、このカードを、この約款の契約に基づいてお客様に貸与します。お客様は、お買い求めの受信機器を使用する前にこの約款を必ずお読みください。
この約款は「特別内蔵用　B-CASカード」と「特別内蔵用　miniB-CASカード」に適用されます。

第１条（カードの使用目的）

このカードは、放送番組の著作権保護等に対応した地上デジタルテレビジョン放送の受信機器において、各種放送サービスを受信する目的で使用されます。

第２条（カードの所有権と使用許諾）

このカードの所有権は、当社に帰属します。

2. この約款の契約に基づき、お客様およびお客様と同一世帯の方がこのカードを使用できます。

第３条（カードの故障交換等）

カードが原因と思われる受信障害が発生した場合は、受信機器メーカーあるいは販売店（以下「メーカー等」といいます）に連絡してください。カードの故障交換等は、お買い求めの受信機器の修理・保証に準じて、メーカー等により行われます。詳しくは受信機器の取扱説明書をご覧ください。

2. 当社に故意または重大な過失があった場合を除き、カードの故障により、第１条の放送サービスが受信できないことによる損害が生じても、当社はその責任を負いません。

第４条（カードの交換依頼）

カードの不具合やシステム変更（バージョンアップ）等、当社の都合によりカード交換が必要となった場合、カード交換をお願いすることがあります。

第５条（契約の終了）

当社は、受信機器の廃棄や譲渡等によりお客様がこのカードを使用しなくなった場合には、お客様との契約が終了したものとみなします。

第６条（禁止事項）

第１条のカードの使用目的に反する機器（例えば著作権保護に対応していない機器）に、このカードを使用することはできません。

2. このカードを使用して、BSデジタル放送や110度CSデジタル放送等の有料放送の視聴契約をすることはできません。
3. カードの複製、分解、改造、変造若しくは改ざん、またはカードの内部に記録されている情報の複製若しくは翻案等、カードの機能に影響を与え、またはカードに利用されている知的財産権の侵害に繋がる恐れのある行為を行うことはできません。
4. カードを日本国外に輸出または持ち出すことはできません。

第７条（損害賠償）

お客様が第６条に違反する行為を行い当社に損害を与えた場合、当社は、お客様に対し損害の賠償を請求することがあります。

第８条（約款の変更）

この約款は変更することがあります。この約款の変更事項または新しい約款については、当社のホームページ（http://www.b-cas.co.jp）に掲載します。

株式会社 ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ

B-CAS カードについて

本製品には、地上デジタル放送を視聴するための「B-CAS カード」が機器内に内蔵されています。
B-CAS カードの所有権は、（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズに帰属します。
お客様は、「B-CAS カード使用許諾契約約款」（⇒ **10** ページ）に基づいてこのカードを使用することができます。
「かんたん初期設定」（⇒ **48** ページ）の後に表示される「B-CAS カード使用許諾契約約款」（⇒ **10** ページ）をお読みいただき、同意操作を行ってください。

※ B-CAS カードは、デジタル放送の番組の著作権保護などの放送サービスに利用されています。
※ B-CAS カードの故障交換などは、本製品の保証に準じて行います。

● B-CAS カードのＩＤ番号表示は、ホームメニューから「設定」―「✉ お知らせ」―「B-CAS カード」で表示されます。（⇒ **30** ページ）

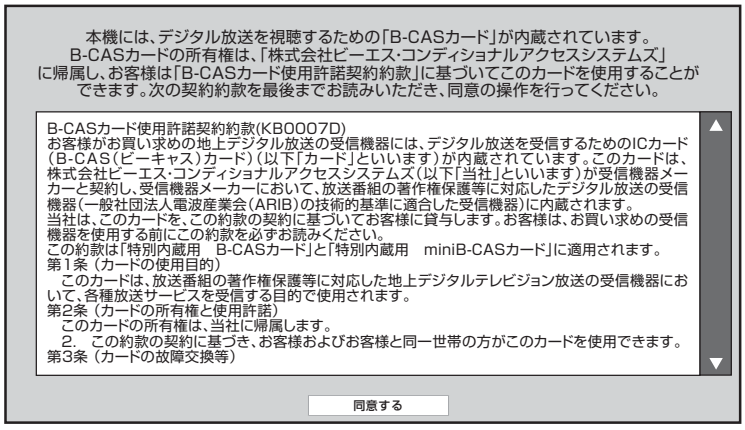
「B-CAS カード使用許諾契約約款」に同意する

・つぎの同意操作を行うことで、放送が視聴できます。

1 を押す

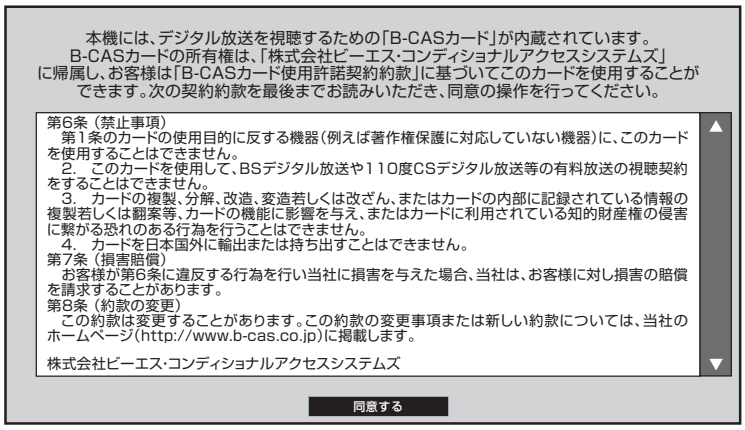
画面のメッセージを確認する

・「B-CAS カード使用許諾契約約款」が表示されます。
上下カーソルキーで画面をスクロールできます。



2 決定 を押す

「同意する」で決定する

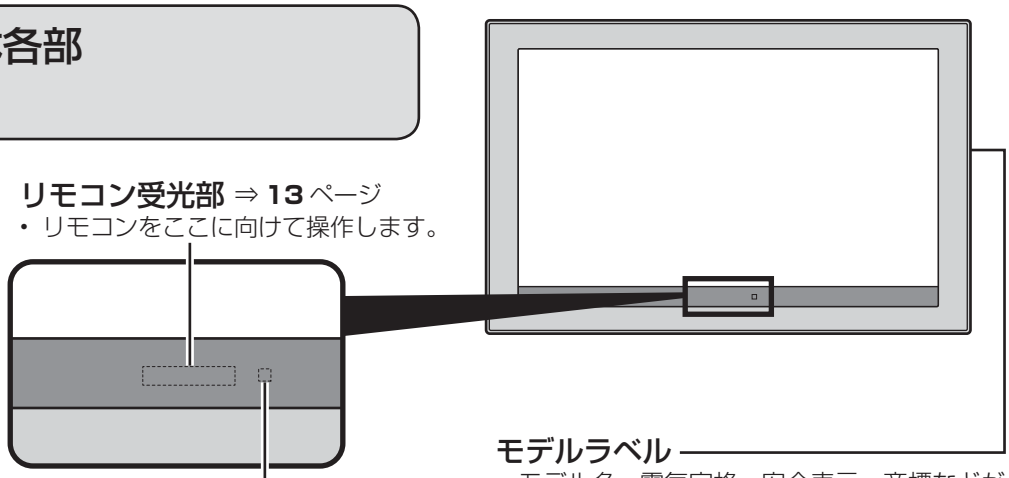


本体各部やリモコンボタンのなまえ

本体各部

前面

リモコン受光部 ⇒ **13** ページ
- リモコンをここに向けて操作します。

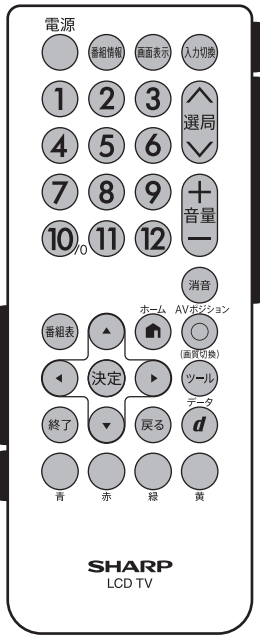


モデルラベル
- モデル名、電気定格、安全表示、商標などが記載されているラベルは背面にあります。

POWER（電源）ランプ
- 緑色点灯：動作状態
- 赤色点灯：待機状態
- 橙色点灯：番組視聴予約状態

リモコンのボタン

ボタン名	ページ
番組表 ・番組表から視聴したい番組を選んだり、視聴したい番組を予約できます。	**16**
ホーム（メニュー）	**26・27**
AV ポジション	**29**
終了 ・ホームメニュー、文字入力などに使います。	
カーソル（上／下／左／右）／決定	**17・27**
・ホームメニュー、文字入力の操作などに使います。	
ツール	**19～20・31・46**
・音声切換や字幕表示をしたり、ホームネットワーク視聴時の操作パネルなどが表示できます。	
戻る ・ホームメニュー、文字入力の操作などに使います。	
データ ・連動データ放送を表示します。	**22**
カラー（青／赤／緑／黄）	
・連動データ放送の操作	**22**
・文字入力の操作	**34・35**

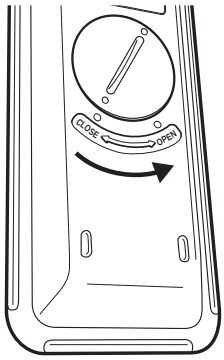


ボタン名	ページ
電源	**15**
番組情報	**19**
画面表示 ・チャンネルなどの情報を表示	**21**
入力切換 ・テレビ／ホームネットワークの入力に切り換える操作に使います。	**41**
チャンネル（数字） ・チャンネルの選局 ・文字や数字の入力、本機の設定操作にも使います。	**15**
選局	**15**
音量	**15**
消音	**15**

リモコンに電池を入れる

1 電池ふたを取りはずす

- 電池ふたをコインなどで「OPEN」の方向へ回します。
- 電池ふたを取りはずします。

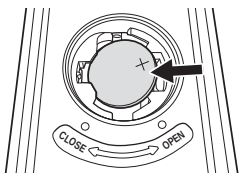


◇おしらせ◇

- 水滴などが電池ふたのまわりやリモコン本体についていないか確認してください。
  水滴がついている場合は、柔らかいタオルなどで必ずふき取ってください。リモコンに水滴がついたままで電池ふたを取りはずすと、水滴がふたの内部に入り、故障の原因となります。
- 浴室の外など乾燥した部屋で行ってください。

2 電池を入れる

- 付属のコイン型リチウム電池（CR 2032）を、右側から左側へ潜り込ませるように入れます。リチウム電池の⊕（プラス）の表示を上にしてください。

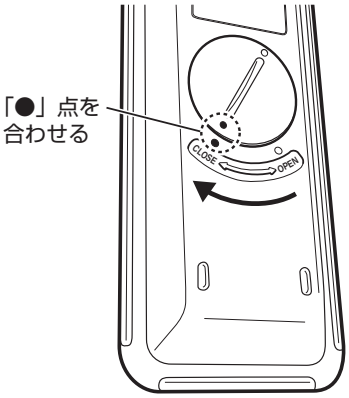


◇おしらせ◇

- 電池の寿命は、テレビや外部機器を頻繁に操作することで、短くなる場合があります。
- 付属の電池は初期動作確認用です。動作期間を保証するものではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 電池を交換するときは、日立マクセル製のコイン型リチウム電池（CR2032）とお取り替えください。

3 電池ふたを取り付ける

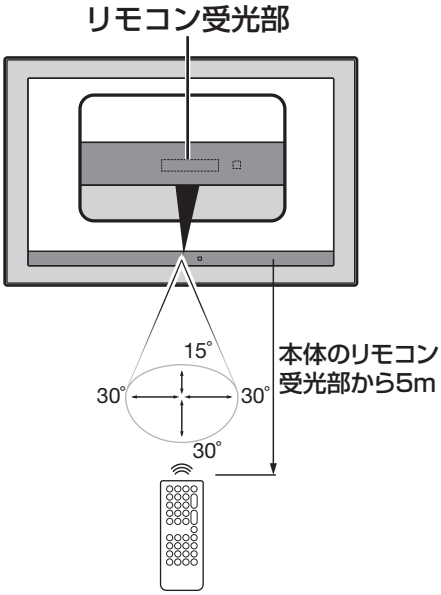
- 電池ふたを載せます。
- 電池ふたをコインなどで、押さえるようにしながら「CLOSE」の位置まで確実に回します。
  （「●」点を合わせてください）



◇おしらせ◇

- 髪の毛やゴミなどが挟まらないようにご注意ください。
- 電池ふたは確実に閉めてください。確実に閉まっていない場合、リモコン内部に水が入り故障の原因となります。

リモコンで操作できる範囲



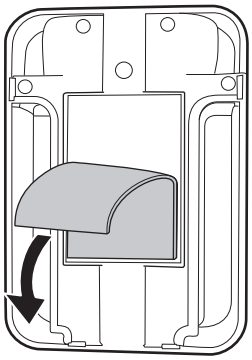
◇おしらせ◇

- リモコンの取り扱いについて、**5**・**7**～**8**ページもご確認ください。

リモコンホルダーの取付方法

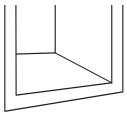
1 取付面の汚れや水滴をよくふきとる

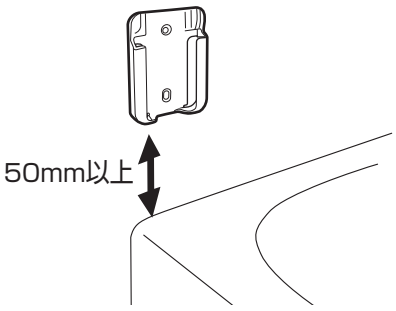
2 裏の両面テープ保護紙をはがす



3 お好みの位置に張り付ける

- 直射日光の当たらない位置に張り付けてください。
- 必ず壁に張り付けてください。
- 壁のつなぎ部分には張り付けないでください。
- 気温の低いときは、両面テープをドライヤーなどであたためてから張り付けてください。
- 浴槽から 50mm 以上離して取り付けてください。





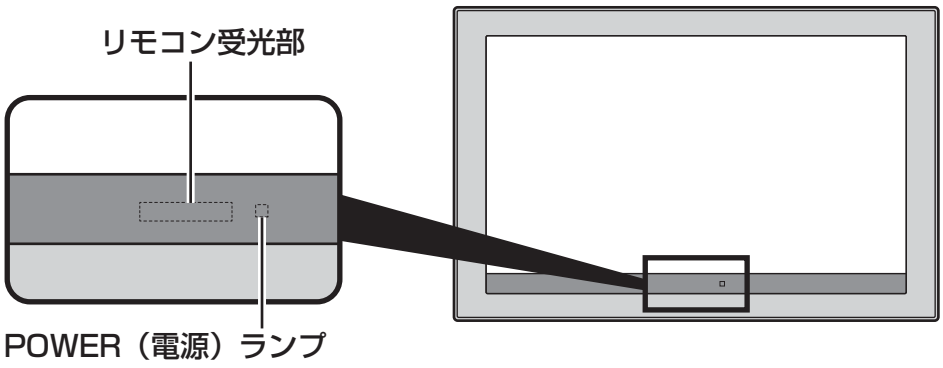
4 上から強く押して確実に張り付けしばらく放置する

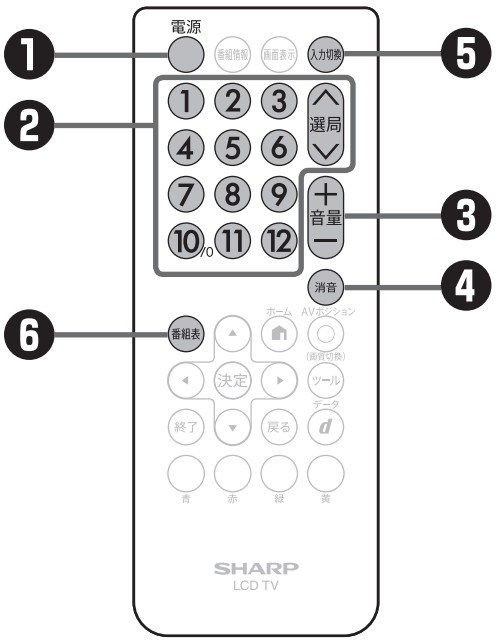
- ねじでの固定は必要ありません。

注意

- 風呂フタの開閉などに支障がないことや、リモコンが出し入れできることをご確認のうえ、リモコンホルダー張付位置を決めてください。
- リモコンをホルダーに入れた状態ではリモコンの赤外線はテレビに届きません。リモコンはテレビに向かって操作してください。

ふだんの使いかた





❶ 電源を入れる

- リモコンの電源ボタンを押して「入」にすると、POWER（電源）ランプが緑色になります。
- リモコンの電源ボタンを押すごとにテレビをつけたり、消すことができます。

❷ チャンネルを選ぶ

- 選局ボタンまたはダイレクト選局ボタンを使って、見たいチャンネルを選びます。
- ダイレクト選局ボタンは選局番号に対応しています。

❸ 音量を調整する

- 画面下部に音量レベルが表示されます。

◇**おしらせ**◇

- 放送やホームネットワーク接続機器によって入力される音声レベルが異なる場合があります。本機は、放送とホームネットワークで別々の音量に設定できます。

❹ 音を一時的に消す

- 消音ボタンを押すと音量が 0 になります。
- もう一度押すと元の音量に戻ります。
- 消音となってから 30 分経過すると、自動的に音量が 0 になります。この状態から音声を聞くには、音量＋ボタンで音量を調整してください。（フルデジタルサウンドシステムのスピーカーをご使用の場合、音量は 0 になりません。）

❺ テレビ／ホームネットワークを切り換える

- 選択した入力に切り換わります。（⇒ **41** ページ）
- 上下カーソルボタンでも選べます。

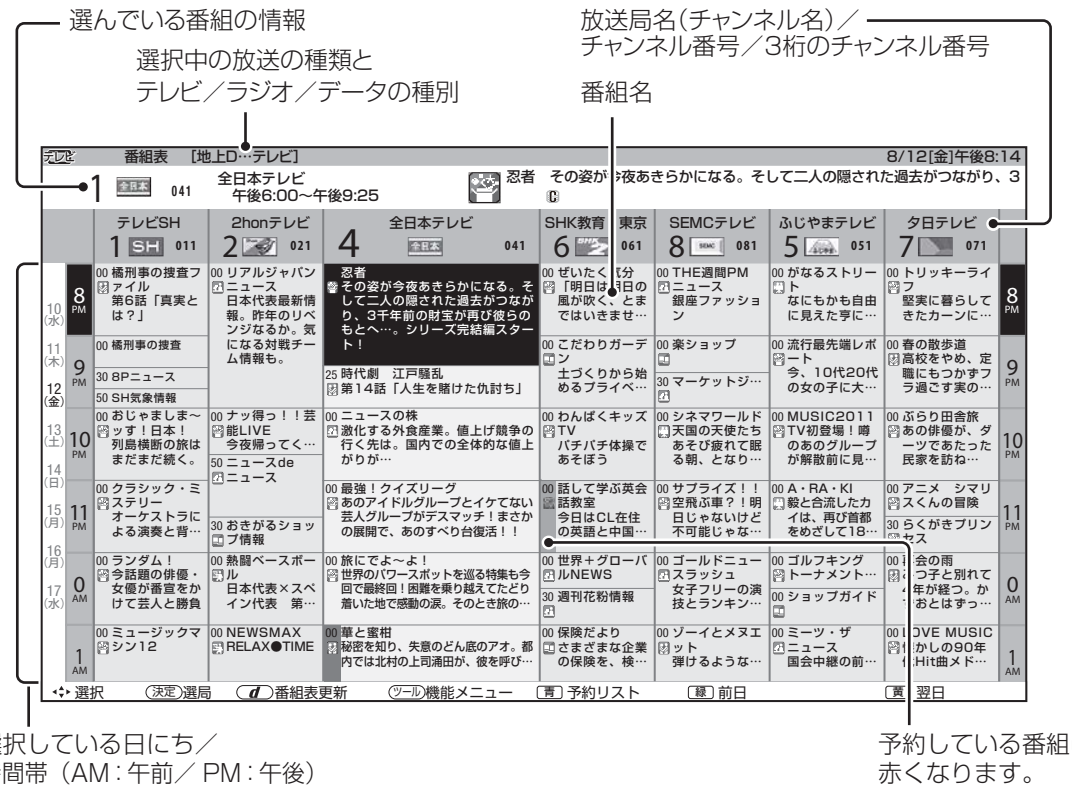
❻ 番組表で番組を探す

- ⇒**次**ページをご覧ください。

番組表を見る

• テレビ画面に番組表を表示して、その中から番組を選べます。

番組表の画面例



ジャンルを示すアイコン

スポーツ	ニュース／報道
ドラマ	情報／ワイドショー
バラエティ	音楽
アニメ／特撮	映画
劇場／公演	ドキュメンタリー／教養
福祉	趣味／教育

番組情報を示すアイコン

アイコン	項目
	視聴予約している番組
	デジタルコピーが禁止されている番組
	デジタルコピーが制限されている番組

表示される情報の期間

- テレビ放送……8 日分
- データ放送……最低 1 日分
- 表示時間……3 時間または 6 時間
  （「文字サイズ設定」により
  変わります。⇒ **17** ページ）

◇ **おしらせ** ◇

番組表の表示のしかたについて

- 「文字サイズ設定」⇒ **17** ページ
- 「サブチャンネル設定」⇒ **17** ページ

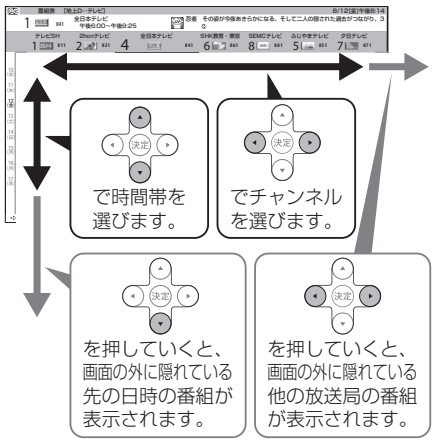
番組の選びかた

1 番組表を表示する

番組表 を押す

2 見たい番組を選ぶ

決定 で選ぶ



- 現在の時間帯より前の番組表は表示できません。
- 番組内容が表示されないチャンネルがあるときは、「番組表の更新について」（⇒**下記**）をご覧ください。

3 決定する

決定 を押す

- 放送中の番組を選んだときは、選んだ番組が選局されます。
- 放送予定の番組を選んだときは視聴予約されます。

機能メニューの使いかた

- 番組表の文字を大きくしたり、見たい番組の検索などが、番組表の「機能メニュー」で行えます。
- 機能メニューは、番組表を表示させている状態で ツール ボタンを押します。

番組表の機能メニューからできること

機能	説明
日時移動	• 番組表で表示する日時を素早く選べます。
予約リスト	• 予約した番組の設定や情報を表示します。
ジャンル検索	• ジャンルで番組を検索できます。
番組詳細検索	• 特徴やキーワードで番組を検索できます。
テレビ / ラジオ / データ	• 番組表の、テレビ放送／ラジオ放送／データ放送を切り換えます。
文字サイズ設定	• 番組表の文字の大きさを変えられます。
サブチャンネル設定	• 番組表にサブチャンネルを表示する／表示しないの設定ができます。
表示順設定	• 番組表のチャンネルの並び順を変えられます。
番組表取得設定	• 番組表をスムーズに表示させるために、番組表を電源待機中に自動取得するよう設定できます。

番組表のカラーボタンについて

青：視聴予約した番組の予約リストを表示します。
黄：翌日の番組表を表示します。
緑：前日の番組表へ戻します。

番組表の更新について

- 番組表は、チャンネルを選び d（データ） を押すと更新できます。地上デジタル放送の番組表は、各チャンネルを個別に更新する必要があります。
- 番組表を更新しているときは、一時的に音声が停止します。
- 検索画面を表示したり、番組表の表示を終了したときは、番組表の更新は停止します。
- 番組表は、電源待機中に自動で取得することもできます。

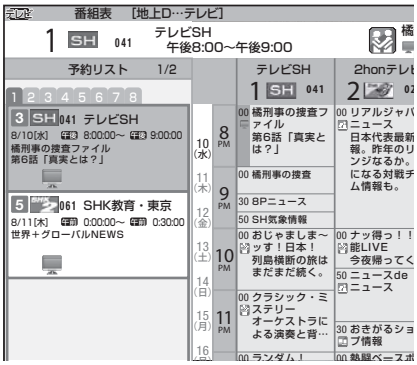
視聴予約の確認・取り消し・変更をするには

- 予約の確認・取り消し・変更をすることができます。
- 視聴予約は、この手順で予約方法を変更します。

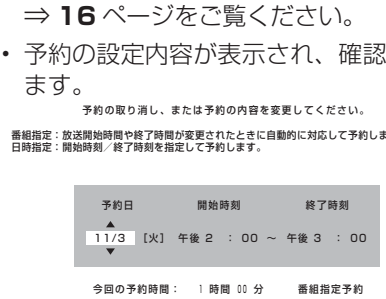
1 **番組表ボタンを押して、番組表を表示する**

2 **青ボタンを押して、「予約リスト」を表示する**

3 **確認・取り消し・変更をしたい予約を選ぶ**



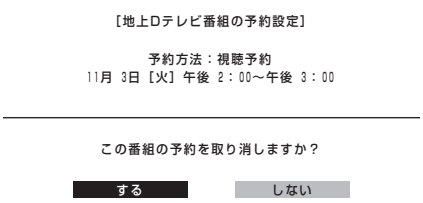
- ◦◦◦で予約されている番組を選びます。
- ◦◦◦でページ 1 ～ 8 のいずれかを選びます。
- 予約リストに表示されるアイコン、番組表に表示されるアイコンについては、⇒ **16** ページをご覧ください。
- 予約の設定内容が表示され、確認できます。



- 確認のみで終了する場合は、「変更しない」を選び、番組表または予約リストに戻ります。

◆ 予約を取り消したいとき

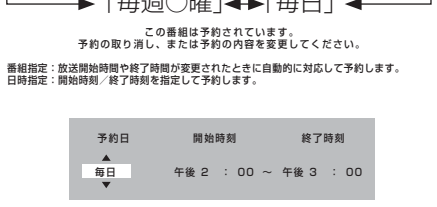
4 **①「取り消す」を選ぶ**
②「する」を選ぶ



- 予約が取り消されます。
  手順 **2** の画面に戻ります。

◆ 予約の設定を変更するとき

上下カーソルボタンで視聴予約日を変更します。



■毎日予約や毎週予約はカラーボタンでも設定できます。

青：毎日予約が設定できます。
赤：毎週予約が設定できます。

■開始時刻/終了時刻を変更したいときは黄(日時指定予約)を押します。

- 左右カーソルボタンで変更する「時間 / 分」を選びます。
- 上下カーソルボタンで「時間 / 分」を変更します。

5 **「変更する」を選ぶ**

6 **「確認」で決定する**

視聴中の便利な機能

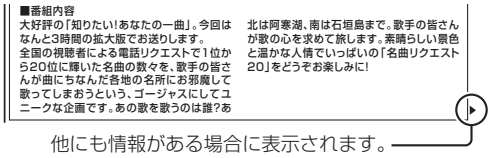
テレビ画面に大きく時計を表示する

- 放送の視聴中にツールメニューから「時計表示」を選ぶと、画面に大きく時計が表示されます。終了ボタンを押すと時計表示が終了します。
- 「時計設定」の「時計タイプ」により、デジタル時計またはアナログ時計を選択できます。(⇒ **28** ページ)

番組の詳細を知りたいときは

- デジタル放送の番組視聴中に、番組情報が表示できます。

番組情報の画面例



他にも情報がある場合に表示されます。

1 番組情報の画面を表示する

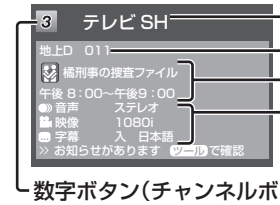
番組情報 を押す

- 番組情報が表示されます。番組情報の右側に◀▶マークがある場合は、左右カーソルボタンで表示を切り換えられます。
- 終了ボタンを押すと、番組情報が消えます。

音声・映像・字幕を切り換える

- 複数の音声(最大８つ)または映像(最大４つ)がある番組をご覧のとき、音声および映像を切り換えて楽しめます。
- 字幕のある番組をご覧のとき、字幕を表示できます。複数の字幕がある番組の場合は、字幕を切り換えて楽しめます。

▼テレビ画面のチャンネルサイン



視聴中の番組の放送局名
視聴中の番組のチャンネル番号
※番組タイトル／※放送時間
音声／映像／字幕情報
映像の種類と画質など、他にも情報がある場合に表示されます。
数字ボタン(チャンネルボタン)の番号

※ 番組タイトルや放送時間は、「設定」－「(機能切換)」－「画面表示設定」－「番組名表示」を「する」に設定すると表示されます。

複数の音声を切り換える

1 ツールメニューを表示して「音声切換」を選ぶ

ツール を押し 決定 で選び 決定 を押す

- 「音声切換」を選ぶたびに音声が切り換わり、テレビ画面左上のチャンネルサインに音声表示が出ます。

マルチ音声番組のとき

音声１ → 音声２～８※ →

※ 番組によって、音声の数は異なります。

二重音声番組のとき

→ 主 → 副 →
主／副

◇ **おしらせ** ◇

- マルチ音声番組を受信したときは、前回の選択にかかわらず、「音声 1」が選択されます。
- 二重音声番組を受信したときは、前回選択されていた音声が選択されます。
- 二重音声やマルチ音声（ステレオ二重音声）のときの言語表記は、放送からの情報による表示であり、必ずしも表記どおりでないことがあります。

複数の映像を楽しむ

1 ツールメニューを表示して、「映像切換」を選ぶ

ツール を押し 決定 で選び 決定 を押す

- 「映像切換」を選ぶたびに映像※が切り換わり、テレビ画面左上のチャンネルサインに映像表示が出ます。

※ 番組によって映像の数は異なります。

次のページに続く

字幕を表示する／複数の字幕を切り換える

◆字幕の表示方式を変えたいとき

1 ツールメニューを表示して、「字幕操作」を選ぶ

ツール を押し

決定 を押す

- 画面右上に字幕メニューが表示されます。

字幕表示
表示方式 [表示しない]
表示言語 [第1言語]
項目選択 決定 実行 戻る 終了

2 「表示方式」を選ぶ

で選び 決定 を押す

字幕表示
表示方式 [表示しない]
表示言語 [第1言語]
項目選択 決定 実行 戻る 終了

3 表示させたい字幕の種類を選ぶ

で選び 決定 を押す

字幕表示
表示方式
- 表示しない
- オンスクリーン
- アウトスクリーン字幕上
- アウトスクリーン字幕下

表示言語 [第1言語]
項目選択 戻る 前に戻る

◆字幕の表示言語を変えたいとき

1 ツールメニューを表示して、「字幕操作」を選ぶ

ツール を押し

決定 を押す

- 画面右上に字幕メニューが表示されます。

字幕表示
表示方式 [表示しない]
表示言語 [第1言語]
項目選択 決定 実行 戻る 終了

2 「表示言語」を選ぶ

で選び 決定 を押す

字幕表示
表示方式 [表示しない]
表示言語 [第1言語]
項目選択 決定 実行 戻る 終了

3 表示させたい言語を選ぶ

で選び 決定 を押す

字幕表示
表示方式 [表示しない]
表示言語
- 第1言語
- 第2言語

項目選択 戻る 前に戻る

- 字幕が 1 種類しかない場合は、「第 2 言語」（副）に設定しても「第 1 言語」（主）の字幕が表示されます。

「表示方式」の設定について

- 「アウトスクリーン字幕上」または「アウトスクリーン字幕下」に設定している場合は、字幕放送でない番組に放送局から字幕情報が送られてくると、自動的に映像が縮小される場合があります。

工場出荷時の設定

表示しない

- 字幕放送でも、字幕を表示しません。

字幕非表示

字幕表示の種類

字幕放送のとき	
オンスクリーン • 字幕放送では、映像に重なって字幕が表示されます。（右の字幕は表示例ですので、放送によって上下の位置が変ります。）	
アウトスクリーン字幕上 • 字幕放送では、自動的に映像が縮小され、映像の上側に字幕が表示されます。 • 放送によっては、字幕が映像と重なることがあります。	

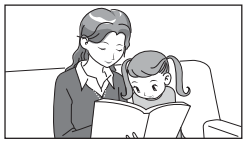
字幕表示の種類

字幕放送のとき

アウトスクリーン字幕下

- 字幕放送では、自動的に映像が縮小され、映像の下側に字幕が表示されます。
- 放送によっては、字幕が映像と重なることがあります。

字幕放送ではないとき

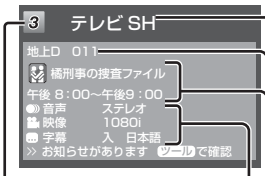


チャンネルなどの情報を確認する

- 放送の種類やチャンネルなどの情報はテレビ画面のチャンネルサインで確認できます。

1 **画面表示ボタンを押してチャンネルサインを表示する**

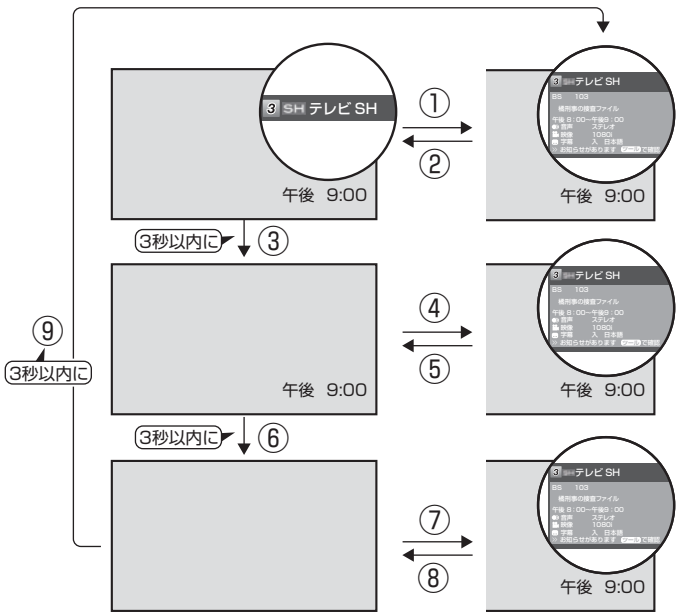
▼テレビ画面のチャンネルサイン



- **視聴中の番組の放送局名**
- **視聴中の番組のチャンネル番号**
- **番組タイトル／放送時間**
- **音声／映像／字幕情報**
  映像の種類と画質など、他にも情報がある場合に表示されます。
- **数字ボタン（チャンネルボタン）の番号**

2 **繰り返し画面表示ボタンを押し、表示のしかた（⇒下記）を選ぶ**

チャンネルサインの表示の切り換わりについて（時刻表示の設定が「する」の場合の説明です。）



① 画面表示ボタンでチャンネルサインが大きく表示されます。

② 画面表示ボタンを押すと元の画面に戻ります。（3 秒以上経過しても、元の画面に戻ります。）

③ ②で画面表示ボタンで元の画面に戻った場合は、画面表示ボタンを押すとチャンネルサインが消え、時計表示だけが残ります。

④ 画面表示ボタンでチャンネルサインが表示されます。

⑤ 画面表示ボタンを押すと元の画面に戻ります。（3 秒以上経過しても、元の画面に戻ります。）

⑥ ⑤で画面表示ボタンで元の画面に戻った場合は、画面表示ボタンを押すと何も表示されなくなります。

⑦ 画面表示ボタンでチャンネルサインと時計が表示されます。

⑧ 画面表示ボタンを押すと元の画面に戻ります。（3 秒以上経過しても、元の画面に戻ります。）

⑨ ⑧で画面表示ボタンで元の画面に戻ってから画面表示ボタンを押すと、チャンネルサインと時計が表示されます。

※ 時刻表示の設定が「する（30 分ごと）」と「しない」の場合は、時計表示はされません。

データ放送で天気予報や株価などの情報を見る

- データ放送には、テレビ放送に連動した「連動データ放送」と、データ放送専門の「独立データ放送」があります。
- データ放送は放送局側で制作したメニュー画面により操作が異なります。データ放送画面を表示したら、画面の表示に従って操作してください。例えば、カーソルボタン（上・下・左・右）で画面の項目を選んで決定したり、カラーボタン（青・赤・緑・黄）で対応する項目を選んだりして操作します。

連動データ放送を表示する

データ d を押す

連動データ放送を含む番組の視聴中に、連動データ放送の画面を表示する

（例）

- テレビ放送に戻すときは、もう一度データボタンを押します。

◇おしらせ◇

- 電源を入れた直後やチャンネルを切り換えた直後は、データボタンを押しても連動データ放送画面が表示されないことがあります。この場合は、約 20 秒待ってからもう一度データボタンを押してください。（表示されるまでの時間は、放送内容によって異なります。）

タイマー機能を使う

指定した時間後に電源を切る（オフタイマー）

- テレビの電源切り忘れ防止などに便利な機能です。

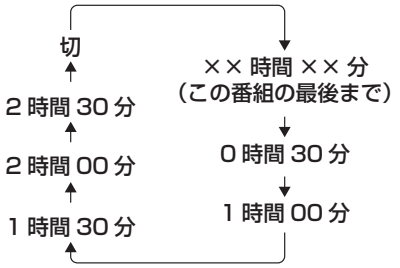
1 ホームメニューを表示して、「設定」−「(機能切換)」−「オフタイマー」−「変更する」を選ぶ

ホーム を押し
決定 で選び
決定 を押す

2 オフタイマーを設定する

決定 で選び
決定 を押す

- 設定したい時間を選びます。



- オフタイマーの残り時間が 5 分になると、残り時間が画面左下に表示されます。
- オフタイマーを解除するには、「切」を選びます。

◇ **おしらせ** ◇

- 「この番組の最後まで」は、番組延長には対応していません。
- 「この番組の最後まで」は、オフタイマーを設定したときの番組終了時刻で設定されます。設定後にチャンネルを切り換えても終了時刻は変更されません。
- 番組終了の約 2 分前を過ぎてからオフタイマーの設定をした場合は、「この番組の最後まで」の代わりに「次の番組の最後まで」が表示されます。
- デジタル放送視聴中以外や番組の情報が取得できない場合は、「この番組の最後まで」または「次の番組の最後まで」は選べません。
- おやすみタイマー動作中は、オフタイマー設定はできません。

オフタイマーの残り時間を確認するには

ホーム を押し
決定 で選び
決定 を押す

ホームメニューを表示して、「設定」−「(機能切換)」−「オフタイマー」を選ぶ

- オフタイマーがすでに設定されている場合は、オフタイマーの残り時間が表示されます。

時間を指定して電源を切る（おやすみタイマー）

• 指定した時刻に、自動的に電源が切れるように設定できます。

1 **ホームメニューを表示して、「設定」−「（機能切換）」−「おやすみタイマー」を選ぶ**

2 **「おやすみタイマー」で「設定」を選ぶ**

• 「解除」を選ぶと、おやすみタイマー機能が働かなくなります。

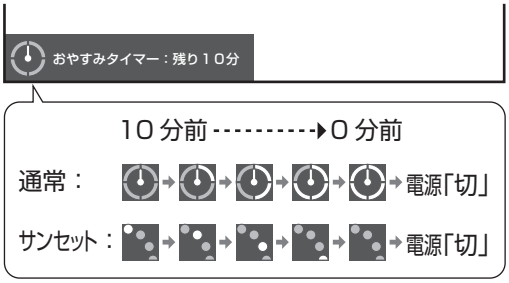
3 **それぞれの項目（⇒下記）を設定する**

①上下カーソルボタンで項目を選ぶ

②左右カーソルボタンで項目の値を選ぶ

• 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

▼ おやすみタイマー「通常」の画面例
（表示設定：「アイコン＋文字」）



• 表示設定が「アイコン+文字」の場合は、1 分ごとに大きなアイコンが表示され、その後小さなアイコンが表示されます。
• 表示設定が「文字のみ」の場合は、1 分ごとに残り時間が表示されます。

◇ **おしらせ** ◇

• 無操作オフや無信号オフ（⇒ **30** ページ）が設定されている場合は、一番早く切れるタイマーで電源が切れます。
• おやすみタイマーのモードの設定が「サンセット」の状態で、「時刻（時）」「時刻（分）」を 10 分以内の時刻に設定した場合、徐々に画面を暗くし、音量を下げる動作は行いません。
• テレビに全画面表示している番組表の操作中や、一部のホームメニューの操作中は、指定時刻になっても操作を優先しているため、電源が切れません。操作を終了したあとに、画面左下にアイコンや文字が表示され、電源が切れます。
• 本機の内蔵時計が正しくないときは、「時刻設定」（⇒ **28** ページ）が必要です。

おやすみタイマーの設定項目

項目	内容	
おやすみタイマー	• タイマーの設定／解除を選択します。	
時刻（時）	• タイマーで電源を切りたい時刻（時）を設定します。	
時刻（分）	• タイマーで電源を切りたい時刻（分）を設定します。	
モード	**通常**	• 毎日同じ設定時刻に電源を切ります。
	サンセット	• 設定時刻の 10 分前から徐々に画面を暗くし、音量を下げて※、設定時刻に電源を切ります。
表示設定	**アイコン＋文字**	• 画面にアイコンと残り時間を表示します。
	文字のみ	• 画面に残り時間を表示します。

※ 何らかの操作をすると、画面の明るさ・音量は元に戻りますが、設定時刻に電源は切れます。

テレビ音声をフルデジタルサウンドシステムのスピーカーで聞く

- あらかじめフルデジタルサウンドシステムが専用のコードで接続されている場合にのみ、フルデジタルサウンドシステムのスピーカーよりテレビ音声をお楽しみいただくことができます。

フルデジタルサウンドシステム（デジタルスピーカー）と本機を接続したときは

・「設定」－「🔧（視聴準備）」－「各種設定」－「音声出力選択」を「デジタル出力」に設定してください。

※フルデジタルサウンドシステム（デジタルスピーカー）以外のアナログスピーカーと接続しているときは「通常」に設定してください。「デジタル出力」に設定しているときは、本機のリモコンで音量調整ができません。

詳しくはフルデジタルサウンドシステムの取扱説明書をご覧ください。

※ フルデジタルサウンドシステムのスピーカーから出る音量は、リモコンのボタン操作では消音のみ操作できますが、音量や音声調整はできません。

※音量調整をする場合は、フルデジタルサウンドシステムに付属のリモコンをお使いください。

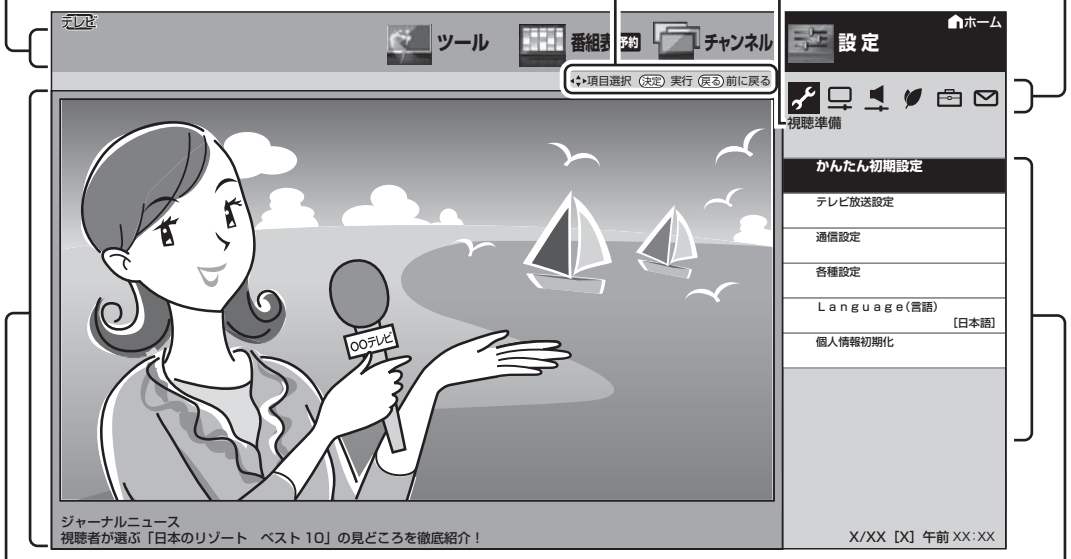
※ フルデジタルサウンドシステム使用時に浴室テレビの電源を入れると、予期せぬ大音量がフルデジタルサウンドシステムのスピーカーより出る恐れがありますので、ご注意ください。

※ フルデジタルサウンドシステムのスピーカーからの浴室テレビ音声はサラウンドにはできません。

ホームメニューの使いかた

- 本機の設定や操作を行うとき、その入り口となる画面のことを「ホームメニュー」と呼びます。
- ここでは、ホームメニューの見かたや使いかたについて説明します。

ホームメニューの画面例



ホームメニューの文字の大きさを変えるには

- ホームメニューに表示される文字の大きさを変更できます。

1 **ホームメニューから「設定」－「(機能切換)」－「画面表示設定」を選ぶ**

2 **「文字サイズ」を選び、「標準」または「大きな文字」に設定する**

ホームメニューなどの配色を変えるには

- ホームメニュー画面の表示色を変更できます。

1 **ホームメニューから「設定」－「(機能切換)」－「画面表示設定」を選ぶ**

2 **「表示色」を選び、「グレー系」「ブルー系」「レッド系」「グリーン系」のいずれかに設定する**

ホームメニューの基本的な操作のしかた

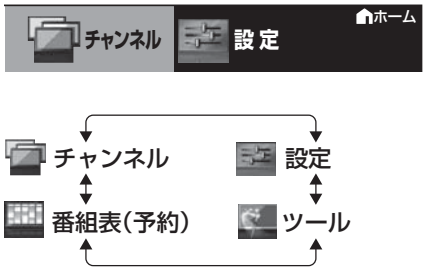
1 ホームメニューを表示する

を押す

2 ホームメニュー項目を選ぶ

で選び

を押す



- リモコンのツールボタンを押して、直接「ツール」を表示することもできます。

3 機能選択メニューがある場合は、項目を選ぶ

で選ぶ

例：「設定」の場合

- ホームメニュー項目を選び直したいときは、戻るボタンを押します。

4 機能別選択・設定項目を選ぶ

で選び

を押す

- 項目は、状況によって異なります。

▼「視聴準備」の機能別項目例

5 ガイド表示に従って、操作を進める

で選び

を押す

- 選んだ項目により、さらに項目を選ぶ操作が続くこともあります。
- 項目により、操作のしかたが異なります。ガイド表示をご覧ください。

▼ガイド表示の例

▼設定画面の例

メニュー項目の一覧と使いかた

メニュー項目名／設定				内容
	かんたん初期設定	B-CAS 確認	次へ	お買いあげ後、初めて電源を入れると「かんたん初期設定」の画面が表示されます。画面を見ながら操作・設定をしてください。受信できる地上デジタル放送のチャンネルが設定されます。(⇒ **48** ページ)
		地域設定		
		郵便番号設定	次へ	
		チャンネル設定	する、しない	
		完了確認	完了、再設定	
	テレビ放送設定	チャンネル設定 地上デジタル −自動	する、しない	地上デジタル放送のチャンネル設定を再度行う場合に選択します。
		−追加	する、しない	
		−個別	各 CH の設定	
		−選局順	モード1、モード2	
		チャンネル更新設定	自動、手動	
		スキップ設定	一括設定、個別設定	各放送のチャンネルスキップの設定を行います。選局時と番組表、それぞれのスキップ設定ができます。
		アンテナ設定 受信強度表示	受信状態一覧へ	デジタル放送用のアンテナの接続を変更したときなどは、再度アンテナ設定画面を見ながらアンテナの向きを調整します。(初めて設置するときやチャンネルが変更されたときなどは、「かんたん初期設定」(⇒ **48** ページ) を行ってください。)
		周波数設定		
		信号テスト−地上 D		
		地域設定	地域選択、郵便番号設定	地上デジタル放送の地域情報 (緊急ニュースなどの文字情報やデータ放送などの地域情報) をお住まいの地域に合わせる設定です。
	通信設定	LAN設定 現在の設定 (設定確認)	変更する、初期化する	LAN の設定を行います。(⇒ **37** ページ)
		IP アドレス設定	する、しない	
		DNS 設定	する、しない	
		ネットワーク設定確認	テスト実行、完了	
		ネットサービス制限設定 デジタル放送接続制限	する、しない	双方向サービスを行うと回線の利用料金がかかる場合がありますので、デジタル放送の接続を禁止したいときに便利な設定です。(⇒ **37** ページ)
		プロキシサーバー設定	する、しない、アドレス、ポート	プロバイダーなどから指定がある場合は、プロキシサーバー設定で入力してください。(⇒ **37** ページ)
	各種設定	暗証番号設定	する、しない	視聴の年齢制限など、各種の制限を設定できます。これらの制限を設定するときや変更するときに、暗証番号を使います。
		視聴年齢制限設定	XX 歳、無制限	年齢制限のある番組の視聴を 4 ～ 20 歳の範囲で制限します。この設定には、暗証番号設定 (⇒**上記**) が必要です。
		ダウンロード設定	する、しない	本機のソフトウェア更新はダウンロードで行います。自動的に行う方法と、必要に応じ手動で行う方法があります。お買いあげ時は利便性を考えて自動になっています。
		クイック起動設定		クイック起動設定とは、電源を入れてから画面が出るまでの時間を早くするための設定です。
			しない	クイック起動しません。
			する (常に有効)	電源待機状態からの電源立ち上がりが早くなり、番組表やホームメニューを早く表示させることができます。「しない」のときより待機時の消費電力が増えます。
			する(2 時間のみ有効)	電源切後 2 時間のみクイック起動を有効にします。
		時計設定 時刻設定	年、月、日、時、分	デジタル放送が受信できないなど、内蔵時計の時刻が自動設定されない場合に、時刻設定をします。
		時刻表示	する、する (30 分ごと)、しない	時刻表示のしかたを選びます。
		時計タイプ	デジタル、アナログ	時刻表示するときの、時計のタイプを変えられます。
		音声出力選択	通常、デジタル出力	浴室テレビ用スピーカーの設定をします。フルデジタルサウンドシステム (デジタルスピーカー) を取り付けているときはデジタル出力に設定します。

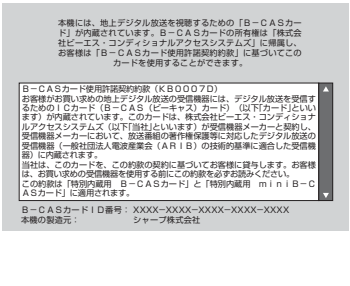
メニュー項目名／設定				内容
	Language（言語）		日本語、English	Using the Home menu screen, you can switch the on-screen display language to English. ホームメニューなどの画面表示を英語にすることができます。
	個人情報初期化		全ての情報を消去、する、しない	本機を廃棄したりする際には、個人情報の初期化を行いこれらの情報を消去してください。 お客様が設定した情報内容（チャンネル設定、予約、各調整値、LAN 設定、暗証番号など）がすべて初期化されます。
	AV ポジション（画質切換）		標準、ナイト、映画、AV メモリー、フォト、ダイナミック	映画や写真などに適した映像に切り換えます。
	明るさ		-16 ～ 0 ～ +16	画面をお好みの明るさに手動で調整します。
	映像		0 ～ +40	映像の強弱を調整します。
	黒レベル		-30 ～ 0 ～ +30	画面を見やすい明るさに調整します。
	色の濃さ		-30 ～ 0 ～ +30	映像の色の濃さを調整します。
	色あい		-30 ～ 0 ～ +30	色を調整します。
	画質		-10 ～ 0 ～ +10	画面をお好みの画質に調整します。
	プロ設定	カラーマネージメント - 色相 カラーマネージメント - 彩度 カラーマネージメント - 明度	R	-30 ～ 0 ～ +30	色の構成要素となる 6 つの系統色を調整し、色相・彩度・明度を変化させます。
			Y	-30 ～ 0 ～ +30	
			G	-30 ～ 0 ～ +30	
			C	-30 ～ 0 ～ +30	
			B	-30 ～ 0 ～ +30	
			M	-30 ～ 0 ～ +30	
			リセット		
		色温度	高、中、低		青みがかった白（色温度：高）にするか、赤みがかった白（色温度：低）にするかを調整します。
		アクティブコントラスト		する、しない	シーンに応じて映像のコントラストを自動的に調整します。「する」「しない」の 2 つの中から選べます。
		ガンマ設定		-2 ～ 0 ～ +2	映像の明るい部分と暗い部分の階調の差を調整できます。
		フィルムモード		する、しない	元信号が 24 コマ／秒の映像を高画質で再生するための設定です。
		デジタル NR		オート、強、中、弱、しない	映像に乗ったノイズを減らし、すっきりさせる機能です。
		モノクロ		する、しない	白黒映像にします。
	リセット			する、しない	映像調整をすべて工場出荷時の設定に戻します。
	オートボリューム				チャンネルを切り換えたときやコマーシャルに切り換わったときなど極端に音量が変わるとき、自動的に音量を調整して不快感を軽減できます。 撮影した映像や他の機器で録画した番組の音量が小さすぎるときは、自動的に聞こえやすい音量になります。
				強	音量変化を強く抑え、音量差を最も小さくします。
				中	音量変化を中くらいに抑えます。
				弱	音量変化をわずかに抑えます。
				切	この機能を無効にします。元の音の音量変化を保ちます。
	高音			-15 ～ 0 ～ +15	高音を調整できます。
	低音			-15 ～ 0 ～ +15	低音を調整できます。
	バランス			左 30 ～中央～右 30	左右のスピーカー音声のバランスを調整できます。
	サラウンド			自動、入、切	内蔵のスピーカーで臨場感あふれるサラウンド空間を擬似的に実現します。
	リセット			する、しない	音声調整をすべて工場出荷時の設定に戻します。（「声の聞きやすさ」は除きます。）
	声の聞きやすさ				ドラマや映画のセリフが聞き取りにくいとき、人の声に関する音域を強調させて聞き取りやすくすることができます。
				標準	音の大きさをそろえた標準的な音質にします。
				マイルド	標準よりもマイルドな音質にします。 セリフ以外の効果音や雑音を小さくし、セリフを聞きとりやすくします。
				くっきり	標準よりもくっきりした音質にします。 セリフの音質をくっきりさせて、聞きとりやすくします。
				しない	この機能を無効にします。

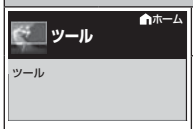
次のページに続く

メニュー項目名／設定				内容
ホーム 設定 安心・省エネ	映像オフ		する、しない	映像を消して音声だけを聞くことができます。
	無信号オフ		する、しない	放送終了後など、番組が映らない状態になると、約 15 分後に電源が切れるように設定できます。
	無操作オフ		しない、30 分、1 時間、2 時間、3 時間	本機を操作しない状態が続くと、自動的に電源が切れるように設定できます。
ホーム 設定 機能切換	視聴操作		番組情報	デジタル放送の番組視聴中に、番組情報が表示できます。
			画面サイズ	放送によっては、画面の両側や上下に黒帯が出る場合があります。「画面サイズ」の設定で、映像の左右幅や上下幅を変えて黒帯を消すことができます。
			テレビ / ラジオ / データ	複数のプラットフォームを受信している場合に、プラットフォームを切り換えられます。
			ホームネットワーク操作	ホームネットワーク視聴中に再生、停止、一時停止などの操作パネルを表示します。
			字幕操作	字幕の表示方式や表示言語を変更します。
			3桁入力	3 桁のチャンネル番号を入力して選局します。
	おやすみタイマー	おやすみタイマー	解除、設定	指定した時刻に、自動的に電源が切れるように設定できます。（⇒ **24** ページ）
		時刻（時）	おやすみタイマー時刻設定　時	
		時刻（分）	おやすみタイマー時刻設定　分	
		モード	通常、サンセット	
		表示設定	アイコン＋文字、文字のみ	
	オフタイマー	変更する	切、この番組の最後まで（次の番組の最後まで）、0 時間 30 分、1 時間 00 分、1 時間 30 分、2 時間 00 分、2 時間 30 分	指定した時間後に電源を切ります。（⇒ **23** ページ）
		変更しない		
	画面表示設定	文字サイズ		標準、大きな文字	ホームメニューに表示される文字の大きさを変更できます。
		表示色		グレー系、ブルー系、レッド系、グリーン系	ホームメニューなどの表示色を変更できます。
		選局効果		する、しない	選局したときに動きの効果がつくよう設定できます。
		番組名表示		する、しない	選局したときに、番組タイトルや放送時間が画面に表示されます。 選局したチャンネルで次の番組が 2 分以内に始まる場合は、次の番組名と時間も表示されます。
		文字スーパー表示		する、しない	デジタル放送では、災害が発生すると同時に文字情報（文字スーパー）を表示する場合があります。 文字スーパーを表示させるかどうかを設定できます。
		画面位置	水平位置		画像が右寄りまたは左寄りの状態にあるときに、左右カーソルボタンで調整します。
			垂直位置		画像が上がりすぎまたは下がりすぎの状態にあるときに、左右カーソルボタンで調整します。
			リセット		工場出荷時の状態に戻します。
ホーム 設定 お知らせ	受信機レポート				予約の失敗や変更に関するレポート（自動で電源オフになった理由など）や B-CAS カードに関する情報など、受信機に関係したレポートを表示します。
	放送局メッセージ				受信契約した放送局から発信されるメッセージを見ることができます。 ダウンロード設定（⇒ **28** ページ）を「しない」に設定した場合、放送局メッセージに「ダウンロードのお知らせ」が届いているときに、手動でダウンロードできます。
	B-CAS カード				内蔵 B-CAS カードの説明や、使用許諾契約約款を表示します。
	システム動作テスト			テスト実行	本機のソフトウェアバージョンや、システム状態、B-CAS カード番号や本機の状態を確認します。

B-CAS カードの情報を確認する

- 「設定」－「✉（お知らせ）」－「B-CAS カード」を選びます。
- B-CAS カード ID 番号が確認できます。



メニュー項目名／設定		内容
	ホームネットワーク操作	ホームネットワーク視聴中に再生、停止、一時停止などの操作パネルを表示します。
	お知らせタイマー	①「分」または「秒」の欄を選び、数字ボタンで時間を入力する ・「00 分 01 秒」～「99 分 59 秒」の間で設定できます。 ②「開始」を選び、決定ボタンを押す ・残り時間が「00 分 00 秒」になると電子音が 1 分間鳴り続けます。 ・カウントダウンを一時停止するには、「ツール」－「お知らせタイマー」を選び、緑ボタンを押します。再度緑ボタンを押すと、カウントダウンが再開します。 ・カウントダウン実行中にタイマーを止めたいときは、カウントダウン中に「ツール」－「お知らせタイマー」を選び、「解除」を選んで決定します。 **おしらせ** **消音中は、残り時間が「00 分 00 秒」になっても電子音が鳴りません。** **次のようなときは、電子音が止まります。** ・リモコンのボタンを押したとき ・視聴予約が開始されたとき ・本機の電源を「切」にしたとき **アラーム音について** ・ホームネットワークの写真を視聴しているときなどは、残り時間が「00 分 00 秒」になっても電子音を鳴らさずに画面の表示だけでお知らせすることがあります。
	時計表示	放送視聴中、時計を全画面に表示します。
	音声切換	複数音声がある場合、視聴したい音声を選択します。
	字幕操作	字幕の表示方式や表示言語を変更します。
	テレビ / ラジオ / データ	複数のプラットフォームを受信している場合に、プラットフォームを切り換えられます。
	画面サイズ	放送によっては、画面の両側や上下に黒帯が出る場合があります。「画面サイズ」の設定で、映像の左右幅や上下幅を変えて黒帯を消すことができます。
	映像切換	複数の映像がある番組をご覧のとき、映像を切り換えて楽しめます。
	お知らせ（受信機レポート）	予約の失敗や変更に関するレポート（自動で電源オフになった理由など）や B-CAS カードに関する情報など、受信機に関係したレポートを表示します。
	お知らせ（放送局メッセージ）	受信契約した放送局から発信されるメッセージを見ることができます。 ダウンロード設定（⇒ **28** ページ）を「しない」に設定した場合、放送局メッセージに「ダウンロードのお知らせ」が届いているときに、手動でダウンロードできます。

メニュー項目に関するおしらせ

メニュー項目名				おしらせ
	各種設定	暗証番号設定		**暗証番号を忘れたときは** ・個人情報の初期化（⇒ **29** ページ）が必要です。個人情報の初期化を行うと、暗証番号以外の情報も消去されます。暗証番号はメモなどをして忘れないようにしてください。
		視聴年齢制限設定		・コンテンツを視聴するためには、視聴年齢制限設定が必要です。視聴年齢制限を「20 歳」または「無制限」に設定すると、番組表などに成人向けチャンネルが表示されます。
		クイック起動設定		・ダウンロード（本機のソフトウェアの受信）時は開始 5 分前になると一時的にクイック起動が解除され、すぐに電源が入らない場合があります。
		時計設定	時刻設定	・時刻が自動設定されている場合、「時刻設定」は選べません。 ・設定できる時刻は 12 時間表示です。 ・設定できる日付は、2035 年 12 月 31 日までです。 ・画面表示ボタンを押すと、現在時刻が確認できます。
	プロ設定	アクティブコントラスト		※ 1 入力信号がプログレッシブ（480p、720p、1080p）のときは選択できません。 ※ 2 入力信号の種類や映像コンテンツによっては、効果がわからないことがあります。
		フィルムモード ※1※2		
		デジタル NR ※2		
	オートボリューム			・声の聞きやすさ設定を「標準」「マイルド」「くっきり」のいずれかに設定している場合、オートボリュームは自動的に設定され、変更できません。 ・この機能は、音声出力選択を「通常」に設定しているときに働きます。「デジタル出力」に設定されているときは働きません。 ・放送やコンテンツによっては、本機能の効果が十分に得られない場合があります。
	声の聞きやすさ			・この機能は、「各種設定」－「音声出力選択」が「通常」に設定されているときのみ働きます。「デジタル出力」に設定されているときは働きません。
	映像オフ			・操作により映像が復帰したり、一度電源を切ったりすると、自動的に設定が「しない」になります。 **映像を復帰させたいときは** ・選局ボタンを押すなど、「音量調整」、「消音」以外の操作をしてください。
	無信号オフ			・放送が終了しても、他局の放送やその他の電波が混入するときは、正しく動作しない場合があります。 ・放送電波の状態などにより、番組を見ているときに無信号オフ機能が働いて電源が切れる場合は、設定を「しない」にしてください。

メニュー項目名			おしらせ
	視聴操作	画面サイズ	・字幕表示の「表示方式」（⇒ **20** ページ）を「アウトスクリーン字幕上」または「アウトスクリーン字幕下」にした場合、画面サイズの切り換えはできません。画面サイズを切り換えたい場合は、「表示方式」を「表示しない」または「オンスクリーン」にする必要があります。 ・1035i は、本機の画面表示（チャンネルサイン）では「1080i」と表示されます。 ・ハイビジョン放送など、画面サイズ「フル 1」でご覧になっているときに、上部にわずかな黒帯が表示される場合は、「フル 2」でご覧ください。
	おやすみタイマー		・無操作オフや無信号オフ（⇒ **30** ページ）が設定されている場合は、一番早く切れるタイマーで電源が切れます。 ・おやすみタイマーのモードの設定が「サンセット」の状態で、「時刻（時）」「時刻（分）」を 10 分以内の時刻に設定した場合、徐々に画面を暗くし、音量を下げる動作は行いません。 ・テレビに全画面表示している番組表の操作中や、一部のホームメニューの操作中は、指定時刻になっても操作を優先しているため、電源が切れません。操作を終了したあとに、画面左下にアイコンや文字が表示され、電源が切れます。 ・本機の内蔵時計が正しくないときは、「時刻設定」（⇒ **28** ページ）が必要です。
	オフタイマー		・「この番組の最後まで」は、番組延長には対応していません。 ・「この番組の最後まで」は、オフタイマーを設定したときの番組終了時刻で設定されます。 ・設定後にチャンネルを切り換えても終了時刻は変更されません。 ・番組終了の約 2 分前を過ぎてからオフタイマーの設定をした場合は、「この番組の最後まで」の代わりに「次の番組の最後まで」が表示されます。 ・番組の終了時刻の情報が取得できない場合は、「この番組の最後まで」または「次の番組の最後まで」は選べません。
	画面表示設定	文字スーパー表示	・「しない」に設定しても、放送局が強制的に表示する文字スーパーがあります。
	お知らせタイマー		・消音中は、残り時間が「00 分 00 秒」になっても電子音が鳴りません。 ・ホームネットワーク操作中などは、残り時間が「00 分 00 秒」になっても電子音を鳴らさずに画面の表示だけでお知らせすることがあります。 **次のようなときは、電子音が止まります。** ・リモコンのボタンを押したとき ・視聴予約が開始されたとき ・本機の電源を「切」にしたとき

文字を入力する（ソフトウェアキーボード）

• 本機の操作で番組表の検索等文字の入力が必要なときは、画面に表示されるソフトウェアキーボードを使って入力します。

「お早うございます」と入力する手順例

1 文字を入力できる欄を選ぶ

• ソフトウェアキーボードが表示されます。

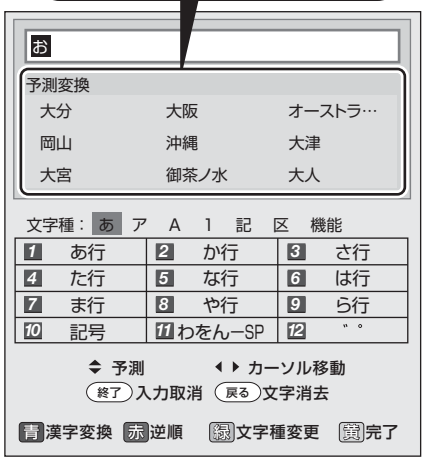
で選び 決定 を押す

2 「お」を入力する

• ① を５回押します。
押すたびに、文字が「あ」「い」「う」「え」「お」と変わっていきます。

を押す

入力中の文字に応じた予測変換候補が表示されます。
画面は一例です。予測変換候補は保存された履歴によって変わります。



予測変換候補に入力したい文字が表示されている場合

• 次の手順で語を入力します。
①下カーソルボタンを押す
②上下左右カーソルボタンで入力したい語を選び、決定ボタンを押す

入力中に文字を消去する場合

• 左右カーソルボタンでカーソルを移動し、戻るボタンを押します。

3 「は」を入力する

• ⑥ を１回押します。

⑥ を押す

4 同じようにして「よ」、「う」を入力する

「゛」（濁点）や「゜」（半濁点）を入力するときは

• ⑫を押します。押すたびに「゛」と「゜」が切り換わります。

「っ」などの小さい文字を入力するときは

• ④を６回押すと「っ」が入力されます。
「ぉ」の場合は、①を 10 回押します。

スペースを入力するときは

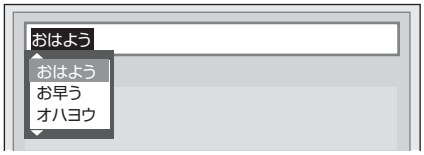
• ⑪を６回押します。

漢字やカタカナに変換する

5 入力欄の文字を変換する

• 変換候補が表示されます。
• 左右カーソルボタンで変換する範囲を選べます。

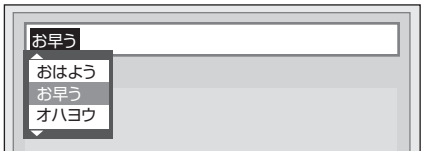
青 を２回押す



6 入力したい文字を選ぶ

• ここでは「お早う」を選びます。
• 次に続く文字の予測変換候補が表示されます。

で選び 決定 を押す



7 続けて文字を入力する

① ～ ⑫ で入力

- ここでは「ございます」と入力します。

- 変換せずに続けて文字を入力する場合は、決定 を押します。

8 入力中の文字を確定する

黄 を押す

- **34** ページの手順 **1** で選んだ入力欄に文字が入力されます。

◇おしらせ◇

文字入力の制限について

- ホームメニューから「設定」ー「🔧(視聴準備)」ー「通信設定」ー「LAN 設定」で LAN 設定の文字入力をするときは、予測変換されません。
- 1 つの入力欄に入力できる文字数は全角で 128 文字まで、半角で 256 文字までです。
- 文字が入力されている欄を選んだときは、入力済みの文字が入力欄に表示されます。このとき、全角で 128 文字（半角の場合は 256 文字）を超える文字は削除されます。

予測変換候補を工場出荷時状態に戻すには

①緑ボタンを繰り返し押し、文字種から「機能」を選ぶ
②数字ボタン（チャンネルボタン）の「3」を押して「履歴削除」を選ぶ

- 予測変換候補が工場出荷時状態に戻ります。

予測変換機能を停止するには

①緑ボタンを繰り返し押し、文字種から「機能」を選ぶ
②数字ボタン（チャンネルボタン）の「4」を押して「予測 OFF」を選ぶ

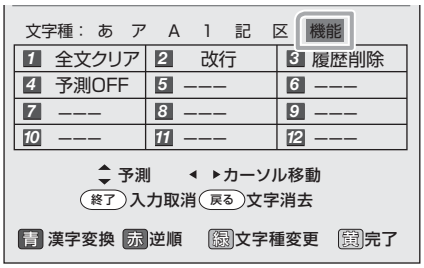
- 予測変換機能が停止し予測候補の表示欄が消えます。予測変換機能を使用するときは上記と同じ手順で「予測 ON」を選んでください。

改行するとき

1 改行したい箇所を選ぶ

2 繰り返し押し、文字種から「機能」を選ぶ

緑 を押す



3 「改行」を選ぶ

② を押す

- 「↵」が入力されます。 黄 を押して文字を確定すると、「↵」の部分で改行されます。

◇おしらせ◇

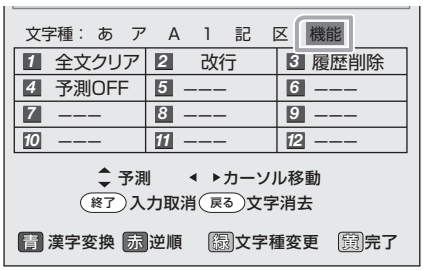
- 入力欄によっては、改行できない場合があります。また、改行以降の文字が消去される場合があります。
- 改行マークは、全角 1 文字として数えられます。

入力中の文字を全て消去するとき

- 入力欄に表示されている文字をまとめて消去することができます。

1 繰り返し押し、文字種から「機能」を選ぶ

緑 を押す



2 「全文クリア」を選ぶ

① を押す

- 入力中の文字が全て消えます。
- 続けて文字を入力するときは、緑 を押して、文字種を選んでください。

双方向通信／ホームネットワークの準備をする

- 双方向通信やホームネットワークを楽しむためには、LAN 環境が必要です。
- 本機のブロードバンド環境や、LAN 接続状況については、設置工事業者にお問い合わせください。

ブロードバンド環境や LAN 環境を用意すると楽しめること

楽しめること	有料サービスの契約	ブロードバンド環境の用意	LAN環境の用意
デジタル放送の双方向通信 **（LAN接続に対応している番組のみ）**	プロバイダとの契約が必要	必要	必要
ホームネットワーク上の写真データの表示／動画や音楽データの再生 使いかた ⇒**38**～**46**ページ	不要	不要	必要

◇**おしらせ**◇

視聴者参加型データ放送の利用について

- 本機には電話回線端子がありませんので、視聴者参加型データ放送など、接続に電話回線が必要となる一部のサービスは、ご利用いただけません。（LAN 接続で利用できるものもあります。）

ホームネットワークの利用について

- ホームネットワークを利用するには、LAN 接続が必要です。LAN ケーブルを接続する場合は、本機やサーバー機器の電源を切った状態で行ってください。電源が入った状態で LAN ケーブルを接続すると、正常にホームネットワークが動作しないことがあります。インターネットプロバイダーとの契約は不要です。

IP アドレスについて

- TCP/IP ネットワークに接続されたネットワーク機器に個別に割り振られた識別番号です。

ネットマスクについて

- TCP/IP ネットワークを複数の小さなネットワークに分割して識別管理する識別番号です。

ゲートウェイについて

- 異なるネットワークを相互に通信可能にする機器の識別番号です。

プロバイダーから発行された資料で、DNS のアドレスが見つからないとき

- DNS は、ドメインネームサーバーやネームサーバーと記載される場合もあります。

LAN 設定する／変更する

• LAN 設定する場合は、次の手順で設定を変更します。

1 **ホームメニューから「設定」−「🔧(視聴準備)」−「通信設定」を選ぶ**

2 **「LAN設定」を選ぶ**

3 **「変更する」を選ぶ**

IP アドレスなどを自動で入力する場合
• 「する」を選びます。

IP アドレスなどを手動で入力する場合
• 「しない」を選び、「IP アドレスなどの入力のしかた」（⇒**下記**）をご覧になり、ブロードバンドルーターの設定に合わせて、IP アドレス、ネットマスク、ゲートウェイを入力します。

4 **「次へ」で決定する**

DNS の IP アドレスなどを自動で入力する場合
• 「する」を選び、決定ボタンを押したあと「次へ」で決定ボタンを押します。

DNS の IP アドレスなどを手動で入力する場合
• 「しない」を選び、プロバイダーから発行された資料をもとに、DNS の IP アドレスを入力し、「次へ」で決定ボタンを押します。
• セカンダリの指定がない場合は、空欄のまま入力を完了してください。

5 **「完了」で決定する**
• 「テスト実行」を選んで「決定」すると接続内容が確認できます。
• 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

IP アドレスなどの入力のしかた

1 **入力欄を選ぶ**
• ソフトウェアキーボードが表示されます。

2 **数字ボタンで、文字を入力する**
• 「0」を入力する場合は ⑩ を押します。

3 **黄ボタンを押し、入力した文字を確定する**
• ソフトウェアキーボード上の文字が入力欄に入力されます。

IPアドレス　192・---・---・---

プロキシ設定機能を利用する

• プロバイダーなどから指定がある場合は、プロキシサーバー設定をしてください。

◇ **おしらせ** ◇
• この設定には暗証番号の入力が必要です。暗証番号の設定（⇒ **28** ページ）をしていない場合は、先に暗証番号を設定してください。

1 **ホームメニューから「設定」−「🔧(視聴準備)」−「通信設定」を選ぶ**

2 **「ネットサービス制限設定」を選ぶ**

3 **「プロキシサーバー設定」を選ぶ**

4 **暗証番号を入力する**

5 **「変更する」を選ぶ**

6 **「する」を選ぶ**

7 **プロキシサーバーのアドレスとポート番号を入力する**
• 各欄を選ぶとソフトウェアキーボード（⇒ **34** ページ）が表示されます。
• 文字を入力し 決 で確定します。

8 **「完了」で決定する**
• 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

双方向サービスの利用を制限する

• 双方向サービスを行うと回線の利用料金がかかる場合がありますので、デジタル放送の接続を禁止したいときに便利な設定です。

◇ **おしらせ** ◇
• この設定には暗証番号の入力が必要です。暗証番号の設定（⇒ **28** ページ）をしていない場合は、先に暗証番号を設定してください。

1 **ホームメニューから「設定」−「🔧(視聴準備)」−「通信設定」を選ぶ**

2 **「ネットサービス制限設定」を選ぶ**

3 **「デジタル放送接続制限」を選ぶ**

4 **暗証番号を入力する**

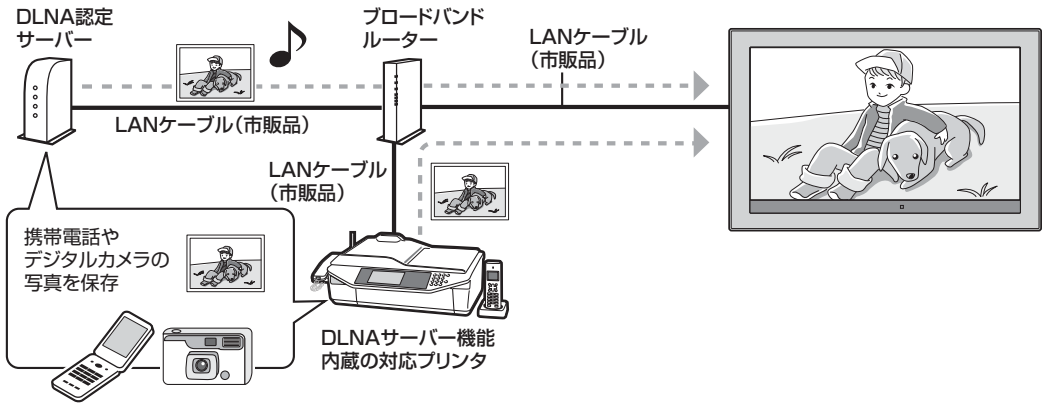
5 **「する」を選ぶ**
• デジタル放送の双方向通信の、禁止する／禁止しないを設定できます。

ホームネットワークで映像・写真・音楽を楽しむ

• ホームネットワークに本機をつないで、ネットワーク経由で映像・写真・音楽を再生できます。

サーバー内の写真・映像・音楽を再生する

ホームネットワークで写真を楽しむ（⇒ **40** ページ）
ホームネットワークで音楽を楽しむ（⇒ **43** ページ）
録画した番組をホームネットワークで楽しむ（⇒ **44** ページ）



使用可能なサーバー／プリンタ／携帯電話の最新情報について

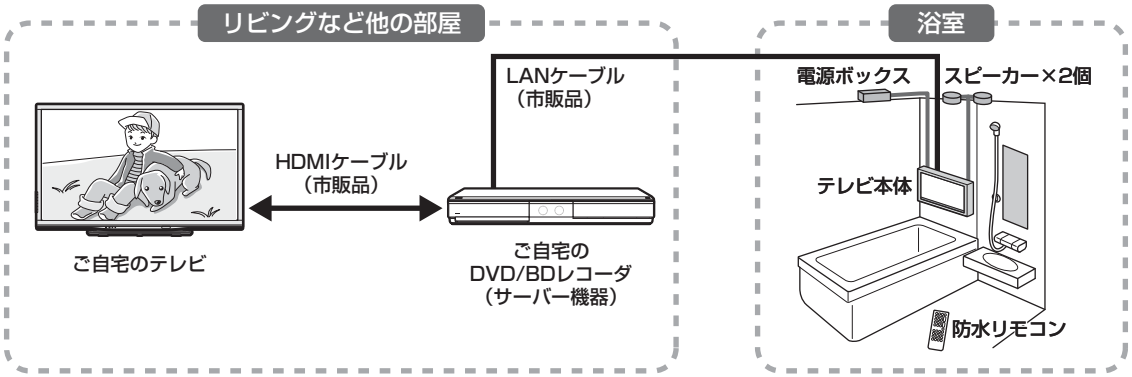
• SHARP サポートページをご覧ください。

SHARP サポートページ
http://www.sharp.co.jp/support/btv/3200d.html

• サーバーやプリンタの操作については、それぞれの取扱説明書またはサポートホームページをご覧ください。

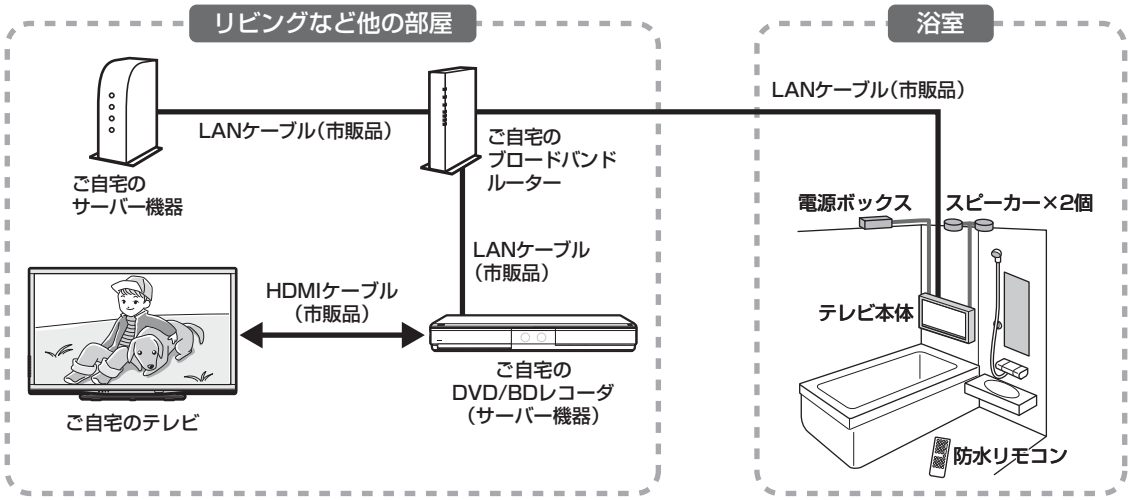
ホームネットワークの接続方法

ご自宅にネットワーク（LAN）環境がない場合

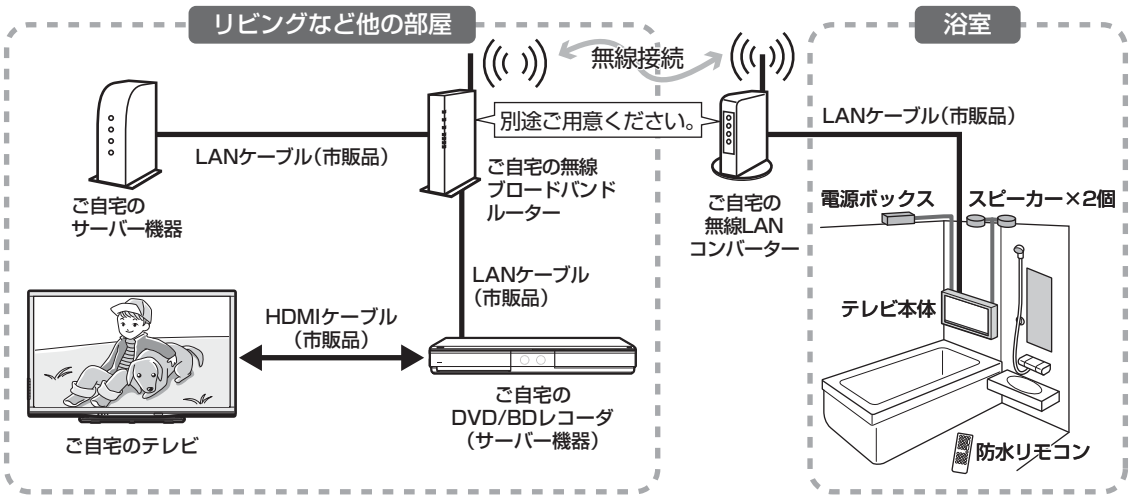


• サーバー機器と浴室テレビともに LAN 設定してください。

ご自宅にネットワーク（LAN）環境がある場合



浴室から他の部屋に LAN ケーブルを配線することができない場合



◇おしらせ◇

- ホームネットワークを使う場合には、各ホームネットワーク対応機器の設定が必要です。設定方法については、各機器の取扱説明書をご覧ください。
- ホームネットワークを使って、浴室テレビから DVD ／ BD レコーダを直接操作することはできません。DVD ／ BD レコーダの番組表や予約録画などの操作は、HDMI ケーブルで接続されているテレビの画面を見ながら行ってください。
- 無線接続の方法は、無線ブロードバンドルーターと無線 LAN コンバーターの取扱説明書をご覧ください。
- 無線接続の場合、住宅の構造や、無線ブロードバンドルーターと無線 LAN コンバーターの設置場所、他の機器（電子レンジなど）との電波干渉などの影響により、電波が届きにくく、正常に接続できないことがあります。
- 無線接続の場合、無線ブロードバンドルーターと無線 LAN コンバーターは、できるだけ障害物や反射などの電波の影響を受けにくい見通しの良い場所に設置してください。
- ホームネットワークでサーバー機器が認識されない場合は、脱衣室のテレビ用電源スイッチを「切」にし、POWER（電源）ランプが消灯していることを確認してから（ランプが見えない場所では 30 秒ほど経過するのを待ってから）、再度電源スイッチを「入」にして本機の電源を入れ直してください。それでも認識されない場合は、サーバー機器の電源も入れ直してください。

ホームネットワークで写真を楽しむ

本機で表示できる写真データの形式

対応データ形式	• DCF2.0 規格対応 JPEG 静止画※1※2
最大ファイルサイズ	• 6MB※3
最大解像度（画像サイズ）	• 4096 x 4096 画素※3※4

※1 以下の形式に対応しています。色情報：YUV420、YUV422、ベースライン DCT
JPEG ヘッダーの回転タグは 4 方向（上、下、右 90 度、左 90 度）に対応しています。

※2 以下の形式は表示できません。プログレッシブＪＰＥＧ、ロスレス回転ＪＰＥＧ（パソコンで回転させた場合に多い）、グレースケールＪＰＥＧ、ＹＵＶ４４４（パソコンで加工した画像に多い）形式の JPEG など。なお、サーバーによってはデータ形式変更やファイルサイズの縮小、画像サイズの変更を行うため、上記制限のあるファイルでも表示されることがあります。

※3 約 1000 万画素以上のデジタルカメラや携帯電話では解像度（画像サイズ）や画質設定により、この制限を超えるため本機で高品位に表示できないことがあります。デジタルカメラや携帯電話の解像度（画像サイズ）や画質設定を小さめに変えて撮影するようにしてください。撮影後はデジタルカメラや携帯電話のリサイズ機能でサイズを小さくすることができる場合があります。

※4 上記制限を超える写真はサーバーにより 160 × 120 画素のサムネイル画像が全画面に表示されます。このため、解像度が大幅に低下することがあります。

◇おしらせ◇

- JPEG 静止画は DCF2.0 規格のデジタルカメラまたはカメラ付携帯電話で撮影されたものが対象です。
- サーバーや静止画によっては、再生できないことがあります。パソコンソフトで加工した静止画は表示できないことがあります。
- GPS データ等、特殊データが写真データ内に埋め込みされている場合、写真の回転ができない場合があります。
- 本機には静止画を保存することはできません。
- サーバー機器は 10 台まで選択できます。
- サーバー機器の設定についてはサーバー機器の取扱説明書またはサポートホームページなどをご覧ください。
- サーバーから取得したリストをそのまま表示するため、写真の無いフォルダが表示される場合があります。

写真が表示されず、エラーメッセージが表示されたときは

- ホームネットワーク利用時に関するエラーメッセージをご覧ください。（⇒ **63** ページ）
- 本機で表示できる写真データの形式をご覧ください。
- スライドショーの途中で「次の写真を取得できません」と表示されたときは、接続やサーバーの設定を確認してください。

DLNA 認定サーバー内の写真の表示について

- 本機の「ホームネットワーク」で表示できるのは、ホームネットワークに接続された DLNA 認定サーバーの JPEG 静止画の写真だけです。
- 現在動作を確認しているサーバーおよび本機対応プリンタについては、SHARP サポートページをご覧ください。

SHARP サポートページ
http://www.sharp.co.jp/support/btv/3200d.html

- SD カードスロットをもつサーバーではスロットに SD カードが入っているときだけサーバー機能が動作する場合があります。また、サーバーに JPEG ファイルを書き込んでから、サーバーのデータとしてホームネットワーク側に提供されるまで数分かかる、または更新設定をしないと反映されない場合があります。詳しくはサーバー機器の取扱説明書をご覧ください。
- JPEG 静止画のファイルサイズが大きいとスライドショーでの写真表示に時間がかかることがあります。
- シャープ製ファクシミリ複合機では、動作中に SD カードを抜くと写真を取得できません。また電話や FAX の使用中や操作パネルに操作中のメッセージなど（ダイアログと呼ばれています）が表示されている間は DLNA サーバー機能が停止します。詳しくはファクシミリ複合機の取扱説明書またはサポートホームページなどをご覧ください。

ホームネットワークのサーバーにある写真を表示する

1 入力切換メニューを表示して、「ホームネットワーク」を選ぶ

入力切換 を押す

ホームネットワークはLAN 接続されているときに選択できます。

- メモリーモードを「オン」に設定し、前回写真のスライドショー中に終了していた場合は、スライドショーが始まります。
- メモリーモードのオン／オフの切り換えは、ホームネットワークのトップ画面で行います。（切り換えかた⇒ **46** ページ）

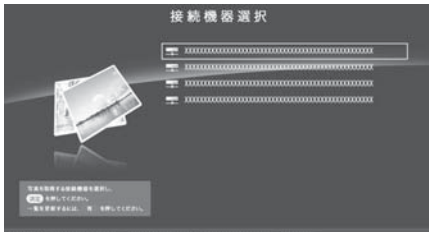
2 「写真を見る」を選ぶ

決定 で選び 決定 を押す

ホームネットワークのトップ画面の例

- 前回接続したサーバー機器のトップフォルダが表示されます。

機器選択画面が表示されたときは

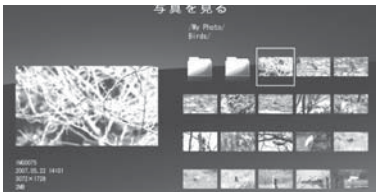


- 上下カーソルボタンで接続するサーバーを選び、決定ボタンを押す
- 前回再生したスライドショーを再開するには初期画面で緑ボタンを押します。黄ボタンを押すと最後にスライドショーを表示したフォルダリストを表示できます。

3 フォルダを選ぶ

決定 で選び 決定 を押す

- フォルダ内の写真が一覧表示されます。
- フォルダと写真が混在している場合は両方が表示されます。



- 青ボタンを押すと、サムネイル表示とリスト表示を切り換えられます。

4 写真を選ぶ

決定 で選び 決定 を押す

- 写真が全画面表示になり、スライドショーになります。
- 「BGM 再生」（⇒ **42** ページ）を「する」に設定しているときは、音楽が流れます。

5 ホームネットワークを終了しテレビ放送に戻る

入力切換 を押す

- 手順 **1** で「テレビ」を選びます。

写真表示中の操作について

- 画面の下部にガイダンス（操作案内）が表示されます。

ボタン	説明
決定	• スライドショーを開始／停止します。
決定	• 前／次の写真に切り換えます。 • リピート再生時は、最後の写真で右カーソルボタンを押すと最初の画面に戻ります。リピートしない場合は、一覧表示（サムネイル表示またはリスト表示）に戻ります。
戻る	• 一覧表示（サムネイル表示またはリスト表示）に戻ります。
終了	• 初期画面に戻ります。
青	• ガイダンス（操作案内）の表示・非表示を切り換えます。
赤	• 写真メニューを表示します。
緑	• 写真を左に 90 度回転します。
黄	• 写真を右に 90 度回転します。

次のページに続く

写真表示のしかたを変えるには

• スライドショーの間隔やBGMのオン／オフなど、写真表示の設定を変更できます。

1 **写真表示中に、赤ボタンを押す**

• 写真メニューが表示されます。

2 **設定したい項目を選び、設定する**

表示モード切換	[ノーマル]
リピート再生	[しない]
スライドショーの間隔	[約10秒]
BGM再生	[する]

設定のための項目

項目	内容
表示モード切換※1	• 「ノーマル」（縦横比を変えずに画面内に最大で収める）と「シネマ」（縦横比を変えずに、黒帯をなくすように画面内に最大で収める）を切り換えます。
リピート再生	• 「する」と「しない」（スライドショーで最後の写真のあとに最初の写真に戻るか、一覧表示に戻るか）を切り換えます。
スライドショーの間隔※2	• スライドショーで、次の写真に行くまでの時間を設定します。「約5秒」「約10秒」「約30秒」「約60秒」から選びます。
BGM再生※3	• 「する」にすると、サーバーの最後に再生したフォルダの音楽が流れます。サーバーに音楽がないときや再生できないときは、内蔵BGM（弦楽セレナーデ・ホ短調）が流れます。

※1 写真の縦横比が16:9の横画像では、表示モード切換しても、表示が見かけ上変わらない場合があります。

※2 サーバーや写真によってはスライドショーの間隔が設定値通りにならない場合があります。

※3 スライドショーのBGMをお好みの音楽にするには
①BGMにしたい曲を再生する
②終了ボタンを押す
ホームネットワークの初期画面が表示されます。
③上下カーソルボタンで「写真を見る」を選ぶ
④写真を選び決定ボタンを押してスライドショーを開始する
スライドショーが始まります。BGMには①で再生したフォルダ内の曲が流れます。音楽の再生について詳しくは、⇒ **43** ページをご覧ください。

◇おしらせ◇

• 表示モードが「ノーマル」のときは、左右に黒い帯が出ることがあります。
• 表示モードが「シネマ」のときは、拡大により、写真の一部がはみ出すことがあります。
• スライドショーなどの「写真を見る」機能を、お好みのBGMでご利用いただいている場合、音楽サーバーから切断される等の理由によりBGMが停止する場合がありますが、その場合も「写真を見る」機能はそのまま続行されます。再度BGMを再生するには、初期画面より「音楽を聴く」を選び、音楽の再生をやり直してください。

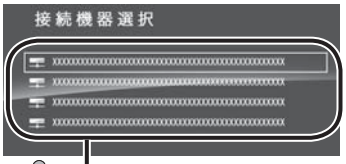
写真やフォルダの一覧表示中の便利な機能について

1 **写真一覧表示中に、赤ボタンを押す**

• 写真フォルダー一覧メニューが表示されます。

2 **項目を選び、設定する**

利用できる項目

項目	内容
リスト表示へ切換／サムネイル表示へ切換	• 写真やフォルダが一覧表示されているとき、リスト表示とサムネイル表示を切り換えます。
BGM再生	• 「する」にすると、サーバーの最後に再生したフォルダの音楽が流れます。サーバーに音楽がないときや再生できないときは、内蔵BGM（弦楽セレナーデ・ホ短調）が流れます。
接続機器変更	• ホームネットワークに複数のサーバーを接続しているとき、写真を見るためのサーバーを変更します。接続機器選択画面では、上下カーソルボタンでサーバーを選び、決定ボタンを押します。 **▼接続機器選択画面**  で選び 決定 を押す
トップフォルダへ移動	• 操作中のサーバーの一番上のフォルダを表示します。
初期画面へ戻る	• 初期画面を表示します。

ホームネットワークで音楽を楽しむ

本機で再生できる音楽データの形式

LPCM	• サンプリング周波数 44.1/48kHz、stereo/mono
MP3 形式で作成されたファイル	• サンプリング周波数 32/44.1/48kHz　32kbps から 320kbps、stereo/mono

◇**おしらせ**◇

- サーバーや音楽ファイルによっては再生できないことがあります。パソコンでは再生できても、本機で再生できない場合があります。
- サーバーから取得したリストをそのまま表示するため、音楽の無いフォルダが表示される場合があります。

使用可能なサーバーについて

- サーバーの動作確認機種の最新情報については、SHARP サポートページをご覧ください。

SHARP サポートページ
http://www.sharp.co.jp/support/btv/3200d.html

- サーバーの操作については、それぞれの取扱説明書またはサポートホームページをご覧ください。

DLNA 認定サーバー内の音楽ファイルの再生について

- 本機の「ホームネットワーク」で再生できるのはホームネットワークに接続された DLNA 認定サーバーの対応ファイル形式のものだけです。
- 音楽ファイルをサーバーに書き込んでもサーバーのデータとしてホームネットワークに反映されるのに非常に時間がかかる、または更新設定をしないと反映されない場合があります。詳しくはサーバー機器の取扱説明書をご覧ください。

ホームネットワークのサーバーにある音楽を再生する

1 **入力切換メニューを表示して、「ホームネットワーク」を選ぶ**

- ⇒ **41** ページをご覧ください。
- メモリーモードを「オン」に設定し、前回音楽を再生していた場合は、音楽再生が始まります。
- メモリーモードのオン／オフの切り換えは、ホームネットワークのトップ画面で行います。（切り換えかた ⇒ **46** ページ）

2 **「音楽を聴く」を選び、決定する**

3 **サーバー機器を選び、決定する**

- 一度音楽が再生されれば、初期画面で緑ボタンを押すと最後に再生した音楽のあるフォルダ内の音楽を再度再生できます。また、黄ボタンを押すと最後に再生した音楽のあるフォルダリストを表示できます。
- 初期画面で決定ボタンを押すと、最後の接続したサーバー機器のトップフォルダが表示されます。

4 **フォルダを選び、決定する**

- フォルダと曲名が混在している場合は両方が表示されます。
- フォルダ内の曲名が一覧表示されます。

5 **曲名を選び、決定する**

- 音楽が再生されます。
- ▲▼◀▶で曲名を選び決定を押すと、その曲が再生されます。
- 戻るで、１つ上のフォルダを表示できます。
- 赤で表示されるメニューからトップフォルダや、再生中の曲が保存されているフォルダを表示することもできます。（⇒**次**ページ）
- 再生中の音楽ファイルと同じフォルダに複数の音楽ファイルがあるときは、フォルダ内の音楽ファイルが順番に再生されます。

次のページに続く

再生中の操作

曲の最初から再生するとき

- ●を押す

前の曲を再生するとき

- ●を続けて 2 回押す（約 3 秒以内に押してください）

次の曲を再生するとき

- ●を押す

音楽を停止するとき

- ■ を押す

6 **ホームネットワークを終了しテレビ放送に戻る**

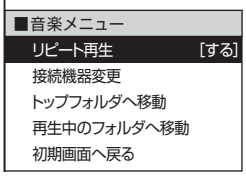
- ⇒ **43** ページの手順 **1** で「テレビ」を選びます。

音楽の一覧表示中や再生中の便利な機能について

- 繰り返し再生の設定や音楽を聴くためのサーバーの変更などができます。

1 **音楽一覧表示中または再生中に、赤ボタンを押す**

2 **項目を選び、設定する**



設定のための項目

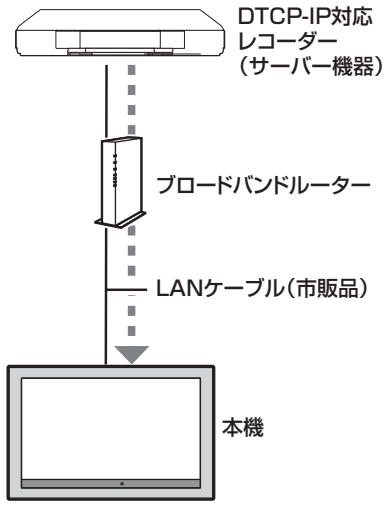
項目	内容
リピート再生	• フォルダ内の音楽をすべて再生したときに、もう一度最初から再生するかどうかを設定します。（1 曲のみのリピートはできません。）
接続機器変更	• ホームネットワークに複数のサーバーを接続しているとき、音楽を聴くためのサーバーを変更します。接続機器選択画面では、上下カーソルボタンでサーバーを選び、決定ボタンを押します。
トップフォルダへ移動	• 操作中のサーバーのトップフォルダを表示します。
再生中のフォルダへ移動	• 現在再生している曲のフォルダへ移動します。 • 停止中の場合は「停止中のフォルダへ移動」と表示されます。
初期画面へ戻る	• 初期画面を表示します。

録画した番組をホームネットワークで楽しむ

- 本機は、DTCP-IP 対応レコーダー（サーバー機器）に保存されているデジタル放送（地上デジタル放送、BS デジタル放送）の映像を表示できる動画プレーヤーです。

DTCP-IP とは

- DTCP-IP は、デジタル放送などの著作権保護されたデータを伝送するための規格です。この規格に対応することにより、著作権保護されたデータ（1 回だけ録画可能なデジタル放送の番組など）を、ホームネットワークでつないだ機器の間でやりとりすることができます。
- DTCP-IP は、「Digital Transmission Content Protection over Internet Protocol」の略です。



使用可能なレコーダーについて

- 本機で使えるレコーダー（サーバー機器）は、DTCP-IP 対応のレコーダーです。詳しくは SHARP サポートページをご覧ください。

SHARP サポートページ
http://www.sharp.co.jp/support/btv/3200d.html

本機で使える機器と、表示できるビデオ形式について

- DTCP-IP 対応レコーダーに録画した MPEG2/AAC、H.264/AAC、H.264/AC3 形式の映像が再生できます。

◇おしらせ◇

- ビデオカメラで撮影した映像、衛星放送の STB（セットトップボックス）や CATV（ケーブルテレビ）の STB（セットトップボックス）から録画した番組など、外部機器からレコーダーに取り込まれた映像は、再生できない場合や音声が出ない場合があります。
- 本機は、あらゆる録画データの再生を保障しておりません。レコーダーが配信可能な映像データでも、本機で一覧表示できない場合や一覧表示から選んでも再生できない（映像・音声が正常に再生されない）場合がありますが、故障ではありません。

DTCP-IP 対応レコーダーの取扱説明書または web ページ内のサポート情報などをご覧ください。

- レコーダーによっては、ホームネットワークで配信できる録画データの種類や形式に制約があります。（プレイリストは不可など）
- レコーダーによっては、録画中の番組が配信できない場合や、同時に複数の映像を配信できない場合があります。
- レコーダーの動作状況（使用状況、操作状況、録画画質の設定状況、画面の表示状況など）によっては、映像をホームネットワークで配信できない場合があります。このときは、本機の「接続機器選択」に表示されないことや、レコーダーの操作によって再生が途中で打ち切られることがあります。
- レコーダーによっては、レコーダーで BD ／ DVD の再生中や録画中、ダビング中に、映像を配信できない場合があります。
- 通常、レコーダーはハードディスクに記録されている映像のみ配信できます。BD や DVD の映像は配信できません。
- レコーダーによっては、本機とレコーダーのデータのやり取りを許可させるために本機の MAC アドレスを登録する必要があります。

ホームネットワークのサーバーにある映像を再生する

1 **入力切換メニューを表示して、「ホームネットワーク」を選ぶ**

- ⇒ **41** ページをご覧ください。

2 **「映像を見る」を選び、決定する**

3 **サーバー機器を選び、決定する**

- 一度映像が表示されれば、初期画面で緑ボタンを押すと最後に再生した映像の続きを再生できます（続きを再生できる場合。続きを再生できない場合は先頭から再生します）。
  また、黄ボタンを押すと最後に再生した映像のあるフォルダリストを表示できます。
- 初期画面で決定ボタンを押すと、最後に接続したサーバー機器のトップフォルダが表示されます。

4 **フォルダがある場合は、フォルダを選び、決定する**

- フォルダ内の映像が、レコーダーが提示した順番で一覧表示されます。

5 **映像を選び、決定する**

- ▲▼◀▶で映像を選び 決定 を押すと、その映像が再生されます。
- 再生中に「ツール」ボタンを押し、「ホームネットワーク操作」を選ぶと、操作パネルを表示できます。（⇒ **46** ページ）
- 戻る で、1 つ上のフォルダを表示できます。
- 本機で再生できない映像が表示されることもあります。表示される映像は、正常に再生できることを保障するものではありません。
- 戻る または、 終了 で、再生を終了します。

6 **ホームネットワークを終了しテレビ放送に戻る**

- 手順 **1** で「テレビ」を選びます。

つづき再生について

- 本機は、途中まで再生した映像の状態を再生の新しい順で 20 件まで保持しています。手順 **5** で映像を選んで再生すると、つづきから再生します。
- 最初から再生したいときは、手順 **5** で、上下で映像を選び、青ボタンを押します。

次のページに続く

メモリーモードについて

- いったん放送に戻り、**45** ページの手順 **1** で「ホームネットワーク」を選ぶと、すぐに最後に視聴した映像のつづきから再生できます。（メモリーモードが「オン」の場合）
- **45** ページの手順 **2** で緑ボタンを押すと、前回再生していた映像のつづきから再生できます。（メモリーモードが「オフ」の場合）
- 映像を一覧から選びたいときなど、メニュー画面から開始したい場合は、再生を停止したあとにホームネットワークの初期画面まで戻り、赤ボタンを押してメニューを表示させ、メモリーモードを「オフ」にします。

◇**おしらせ**◇

再生中に映像や音声が途切れる場合

- レコーダーと本機を PLC（電力線通信）や無線接続による LAN 環境で接続している場合は、LAN の通信速度が不足して再生が途切れることがあります。
- 有線 LAN で接続すると、改善することがあります。
- レコーダー側で長時間録画用の録画画質で録画しておくと、LAN の通信速度が低くても再生できる場合があります。

再生中の操作のしかた（ホームネットワーク）

- ホームネットワーク操作パネルで、一時停止や再生などの操作ができます。

1 **ツールメニューを表示して、「ホームネットワーク操作」を選ぶ**

ツール を押し

で選び

決定 を押す

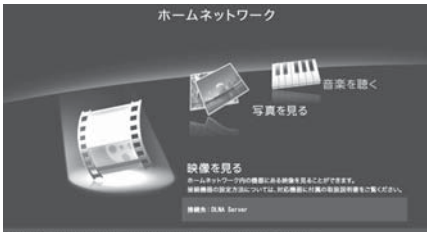
◇**おしらせ**◇

- 早送り再生／スロー再生／逆スロー再生には対応していません。
- 対応できない操作ボタンは、表示されません。
- 10 秒戻し／ 30 秒送りで操作できる時間は、おおよその時間です。

メモリーモードの設定を変える

- メモリーモードを「オン」に設定すると、ホームネットワークを開始したとき、前回最後に表示または再生した写真・映像・音楽のいずれかをすぐに再生開始します。

1 **トップ画面表示中に赤ボタンを押し、トップメニューを表示する**



2 **「メモリーモード」を選び、決定する**

3 **「オン」または「オフ」を選び、決定する**

- メモリーモードを「オン」に設定しても、サーバーに接続できないなどの理由により、前回最後に再生した写真・映像・音楽が再生できない場合があります。

放送の種類について

地上デジタル放送

- 本機が受信できる放送は地上デジタル放送です。（BS・110 度 CS デジタル放送は受信できません。）
- DLNA 対応 DVD/BD レコーダー（サーバー機器）などを LAN 接続することにより、BS・110 度 CS デジタル放送をご覧いただけます。（4K 放送を除く）

特長
- 迫力あるワイド画面とデジタルハイビジョンの高画質
- 高音質と多チャンネル放送
- 天気予報やニュースなどの、番組に連動したデータ放送
- 視聴者参加型の双方向通信番組

受信に必要なアンテナ
- UHF 対応のアンテナが必要です。お使いのアンテナが UHF 対応であればそのまま使えます（取り替えや調整が必要になることもあります）。**VHF アンテナでは受信できません。**

地上デジタル放送の CATV 放送対応について
- 本機で受信できるケーブルテレビ（CATV）の方式は「パススルー方式」（UHF 帯、ミッドバンド［MID］帯、スーパーハイバンド［SHB］帯、VHF 帯）です。トランスモジュレーション方式の場合、ケーブルテレビ専用受信機を介して視聴できます。

デジタル放送のその他の特長

臨時放送（臨時編成サービス）
- スポーツ中継の延長などで、臨時に行うマルチチャンネル放送です。案内画面が表示されたときに、決定ボタンで切り換えます。

イベントリレーサービス
- スポーツ中継の延長時などに、別チャンネルで続きを放送するサービスです。案内画面が表示されるので、決定ボタンで切り換えます。延長された番組を録画予約していた場合、自動的に追従します。

マルチビューサービス
- 一つの番組の中で、カメラアングルを変えて最大 3 つの映像が放送されるサービスです。ツールメニューを表示して、「映像切換」を選んで切り換えます。

緊急警報放送
- 地震などの際の緊急警報放送です。

ブックマーク
- コンテンツ画面にブックマーク※アイコンが表示されているときは、その情報（ブックマーク記録コンテンツ）を登録しておき、後でブックマークを一覧表示・選択して、関連チャンネルを呼び出すことができます。

  ※「ブックマーク」とは、しおりのことです。画面によっては、特定のページを表示するための絵文字（ブックマークアイコン）が表示されます。

◆ 重 要 ◆
- データ放送の双方向通信などで本機に記憶されたお客様の登録情報やポイント情報などの一部、またはすべての情報が変化・消失した場合の損害や不利益について、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

「かんたん初期設定」をする

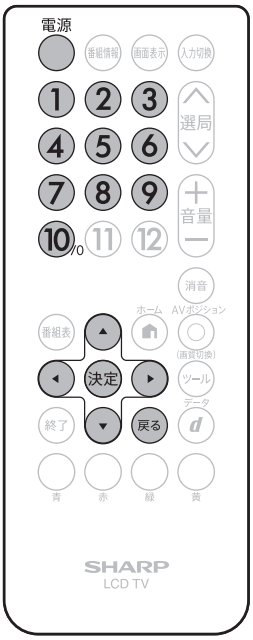
- お買いあげ後、初めて電源を入れると「かんたん初期設定」の画面が表示されます。画面に従って操作・設定してください。

かんたん初期設定の画面が表示されない場合、設定をやり直すときは

- ホームメニューからかんたん初期設定を行ってください。

選びかたは、**26**～**27** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例



◇**おしらせ**◇

- 設定中に戻るボタンで一つ前の画面に戻れます。

1 電源を入れる

電源

を押す

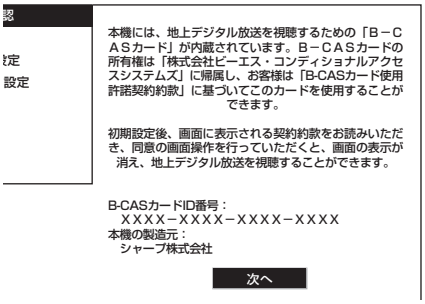
電源の入れかた

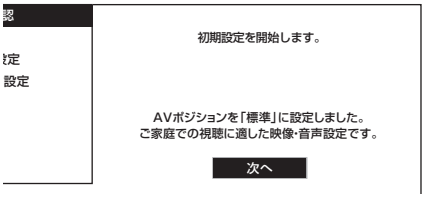
- ⇒ **15** ページ

2 メッセージを確認して決定する

決定

を押す





- 途中で設定を中止するときは、電源をお切りください。

「B-CAS カードが認識できません。」と表示されたときは

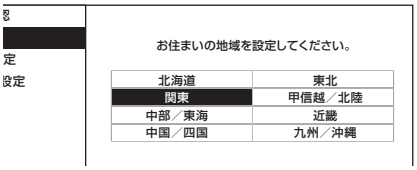
- 電源スイッチを入れ直してください。電源スイッチを入れ直しても改善されない場合は、お客様相談窓口にお問合わせください。（⇒ **67** ページ）

3 ①お住まいの地域を選ぶ

で選び

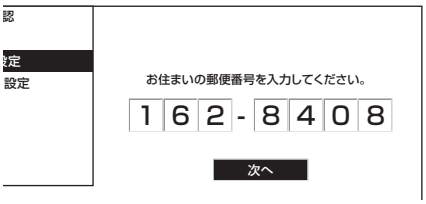
決定

を押す



②お住まいの都道府県または地域を選ぶ

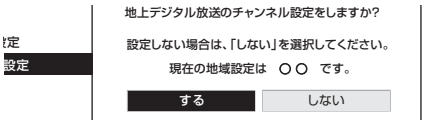
4 郵便番号を入力する



① ～ ⑩0 で入力し 決定 を押す

- 「0」を入力するときは ⑩0 を押します。

5 「する」を選ぶ



で選び 決定 を押す

- チャンネル設定が終わるまでしばらくお待ちください。

6 設定された内容を確認し、間違いがなければ「次へ」を選ぶ

で選び 決定 を押す

7 メッセージを確認して決定する

決定 を押す

- 続いて、「B-CAS カード使用許諾契約約款」を確認します。(⇒ **11** ページ)
- 映りかたを確かめましょう。
- 放送が受信できないときは⇒ **54** ページ

チャンネル設定の途中で、「地上デジタル放送のチャンネルが見つかりませんでした。」と表示されたときは

- リモコンの電源ボタンでいったん電源を切って UHF アンテナの接続を設置工事業者に確認してください。電源を入れ直すとかんたん初期設定の画面が表示されます。

「かんたん初期設定」を行っても受信できない放送があるときや設定の変更をしたいときは

- 次の設定を行ってください。

デジタル放送用アンテナの設定をする

- デジタル放送のアンテナの向きの調整や信号の強さのテストを行います。(⇒ **50** ページ)

お住まいの地域向けの地上デジタル放送を受信するために(地域選択／郵便番号設定)

- デジタル放送の地域情報を視聴するために、お住まいの地域を選んで郵便番号を入力します。(⇒ **50** ページ)

地上デジタル放送のチャンネルを追加したり設定をやり直すときは

- 受信できる地上デジタル放送のチャンネルを探します。(⇒ **51** ページ)

デジタル放送のチャンネルの個別設定

- デジタル放送のチャンネルの設定を個別に変更することもできます。(⇒ **51** ～ **52** ページ)

デジタル放送の受信の設定を個別に行うときは

デジタル放送用アンテナの設定をする

- デジタル放送用のアンテナの接続を変更したときなどは、再度アンテナ設定画面を見ながらアンテナ電源の設定やアンテナの向きを調整します。（初めて設置するときは、「かんたん初期設定」（⇒ **48** ページ）を行ってください。）

デジタル放送の受信強度の確認（信号テスト）をするときは

- デジタル放送の信号テストができます。

1 **ホームメニューから「設定」−「🔧（視聴準備）」−「テレビ放送設定」を選ぶ**

2 **「アンテナ設定」を選ぶ**

3 **カーソルボタンで確認したい項目を選び、決定する**

- 「受信状態：良好です。【A】」と表示されていることを確認してください。
- 「受信状態：良好です。【A】」と表示されないときは、アンテナ受信強度に関するエラーメッセージ（⇒ **61** ページ）をご覧になり、適切な処置を行ってください。

4 **カーソルボタンで「終了」を選び、決定する**

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

◇おしらせ◇

周波数設定について

- 手順 **1** で「周波数設定」を選ぶと、新しい周波数を入力することで受信に必要な情報を取得できます。
  通常は、設定する必要はありません。

お住まいの地域向けの地上デジタル放送を受信するために（地域選択／郵便番号設定）

- 地上デジタル放送の地域情報（緊急ニュースなどの文字情報やデータ放送などの地域情報）をお住まいの地域に合わせる設定です。

地域選択

1 **ホームメニューから「設定」−「🔧（視聴準備）」−「テレビ放送設定」を選ぶ**

2 **「地域設定」を選ぶ**

3 **「地域選択」を選ぶ**

4 **お住まいの地域を設定する**

- 地域選択を変更した場合は、あとで「チャンネル設定」から「地上デジタル一自動」を行ってください。（⇒ **51** ページ）

郵便番号設定

1 **ホームメニューから「設定」−「🔧（視聴準備）」−「テレビ放送設定」を選ぶ**

2 **「地域設定」を選ぶ**

3 **「郵便番号設定」を選ぶ**

4 **数字ボタン（チャンネルボタン）で郵便番号を入力する**

- 入力した番号を修正するときは、修正したい欄を左右カーソルボタンで選び、数字ボタン（チャンネルボタン）で数字を選び直します。

地上デジタル放送のチャンネルを追加したり設定をやり直すときは

- 地上デジタル放送のチャンネル設定を再度行う場合の手順です。**チャンネル設定の前に、必ず「地域設定」**（⇒ **50** ページ）**をしてください。**

1 **地上デジタル放送を選局する**

2 **ホームメニューから「設定」−「🔧(視聴準備)」−「テレビ放送設定」を選ぶ**

3 **「チャンネル設定」を選ぶ**

4 **「地上デジタル一自動」を選ぶ**

5 **「する」に設定する**

◆ 重 要 ◆

「地上デジタル一自動」を行った後で、新しく放送が開始されたチャンネルを追加するときは

- 「地上デジタル一自動」の代わりに「地上デジタル一追加」を選びます。すでに登録されているチャンネルはそのまま残り、新しく確認されたチャンネルが追加されます。追加が終わったら、「終了」で決定ボタンを押します。

◇ おしらせ ◇

地上デジタル放送の CATV（ケーブルテレビ）放送対応について

- CATV による地上デジタル放送の視聴については、お客様が契約されている CATV 会社にお問い合わせください。
- 本機で受信できるケーブルテレビ（CATV）の方式は、「パススルー方式」（UHF 帯、ミッドバンド［MID］帯、スーパーハイバンド［SHB］帯、VHF 帯）です。
- CATV パススルー方式とは、CATV 配信局が地上デジタル放送を、内容はそのままで CATV 網に流す放送方式です。この方式では、地上デジタル放送が本来使っている UHF 帯のチャンネルとは異なる他のチャンネルに周波数を変換して再送信することがあります。

デジタル放送のチャンネルの個別設定

- 登録したデジタル放送のチャンネルは、次の設定内容を変更できます。

項目	内容
数字ボタン	• リモコンの数字ボタン（チャンネルボタン）を押したときに受信するチャンネルを設定します。
枝番	• 受信した放送局の 3 桁チャンネル番号が重複している場合は、4 桁め（枝番）を変更して区別できます。
スキップ	• 選局（∧順／∨逆）ボタンで選局をしたときに、視聴しないチャンネルを飛ばせます。「する」でスキップが設定され、「しない」で解除されます。

1 **ホームメニューから「設定」−「🔧(視聴準備)」−「テレビ放送設定」を選ぶ**

2 **「チャンネル設定」を選ぶ**

3 **「地上デジタル一個別」を選ぶ**

4 **①上下カーソルボタンで変更したいチャンネルを選び、決定する**

②左右カーソルボタンで「数字ボタン」を選び、決定する

- 枝番を入力する場合は、「枝番」を選び、① ～ ⑨ を押します。
- チャンネルをスキップする場合は、「スキップ」を選び、左右カーソルボタンで「する」を選びます。このメニューで行ったスキップ設定は、⇒ **52** ページのチャンネルスキップ設定と連動します。

次のページに続く

5 **数字ボタンで入力欄に数字を入力して、決定する**

- 数字ボタンが重複している場合は、「数字ボタンが重複しています。置き換えますか？」と表示されます。（枝番の場合は「枝番が重複しています。置き換えますか？」と表示されます。）

数字ボタンを置き換える場合

- 手順 **6** に進みます。

置き換えずに別の数字にする場合

- 画面の「戻る」を選び、別の数字を入力して決定ボタンを押してください。

6 **「確認」を選ぶ**

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

◇おしらせ◇

地上デジタル放送の受信チャンネル番号と枝番について

- 地上デジタル放送では、1 ～ 12 の数字ボタン（チャンネルボタン）の番号のほかに、3 桁のチャンネル番号が付けられています。1 つの放送局が複数の番組を同時に放送する場合には、3 桁のチャンネル番号で区別することになります。
- 3 桁のチャンネル番号は、放送地域内（都府県、北海道は 7 地域）ではそれぞれ別番号になっています。従って、通常は 3 桁で放送番組を特定できます。ただし、お住まいの地域により、隣接する他地域の放送も受信できることがあります。この場合は、3 桁チャンネル番号が重複することがあります。このときは、さらにもう 1 桁（これを「枝番」といいます）を入力して選局することになります。

チャンネルスキップ設定

- 通常の選局時と番組表を使った選局時の、チャンネルのスキップ設定を次のように変更できます。

項目	内容
両方する	• 選局時と番組表のどちらもスキップします。 • この設定をしたチャンネルは、選局時と、番組表のどちらにも、表示されなくなります。
番組表のみ	• 番組表のみ表示されなくなります。 • 選局時は表示されます。
選局のみ	• 選局時のみ表示されなくなります。 • 番組表には表示されます。
両方しない	• 選局時と番組表のどちらもスキップされません。 • この設定をしたチャンネルは、選局時と番組表のどちらにも表示されます。

1 **ホームメニューを表示して、「設定」－「(視聴準備)」－「テレビ放送設定」を選ぶ**

2 **上下カーソルボタンで「スキップ設定」を選び、決定する**

3 **カーソルボタンで「一括設定」または「個別設定」を選び、決定する**

- 「一括設定」を選んだ場合は、「この放送事業者内の全てのチャンネルを番組一覧表と、選局順逆時にスキップしますか？」と表示されますので、手順 **5** に進みます。
- 「個別設定」を選んだ場合は、手順 **4** に進みます。

4 **上下カーソルボタンでスキップ設定したいチャンネルを選び、決定する**

5 **カーソルボタンで「両方する」「番組表のみ」「選局のみ」「両方しない」のいずれかを選び、決定する**

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

故障かな？と思ったら

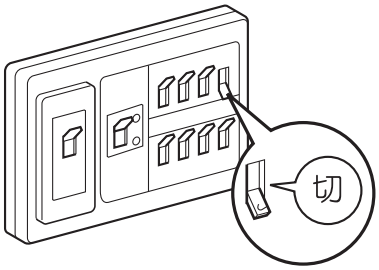
• 故障かな？と思ったら、修理を依頼される前にもう一度お調べください。

故障かな？と思ったら ➡

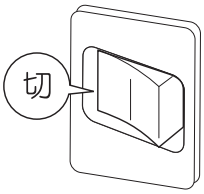
まず確認してください

電源が入らない

ランプが点灯していないときは、屋内開閉器（ブレーカー）が「切」になっていないか確認してください。

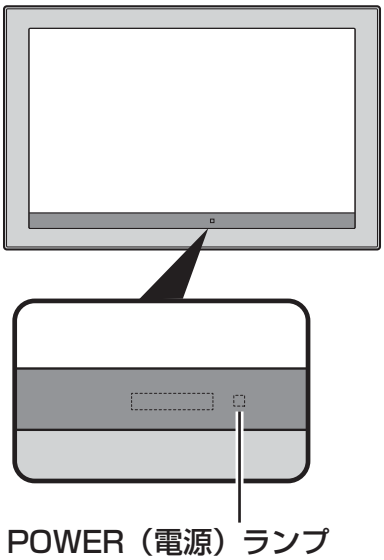


脱衣室のテレビ用電源スイッチが「切」になっていないか確認してください。



ランプの点灯を確認し、リモコンの電源ボタンを押して電源を入れてください。(⇒15ページ)

• 本機はリモコンで電源を切っても、POWER（電源）ランプは消えません。



放送が受信できないときに確かめること

放送が受信できないときは

以下の画面は一例です。
確認のしかたが異なる場合は、画面の指示に従ってください。

1 画面のメッセージを確認し、決定する

決定を押す

・ 受信状態が悪い場合、次のような画面が表示されます。

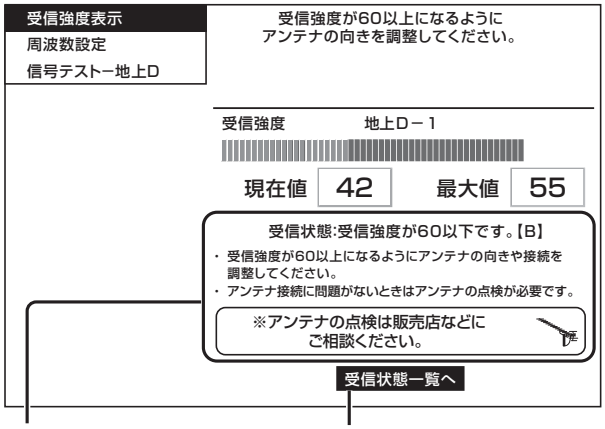
地上D 031chが受信できません。[E202]
リモコンで選局を確認ください。

決定で受信強度を確認します

現在放送されていません。[E203]
番組表などで放送時間を確認してください。
雨や雪などの天候の影響で
一時的に受信できない場合もあります。

2 受信状態に応じた対処のしかたを確認し、「受信状態一覧へ」を選ぶ

で選び 決定 を押す



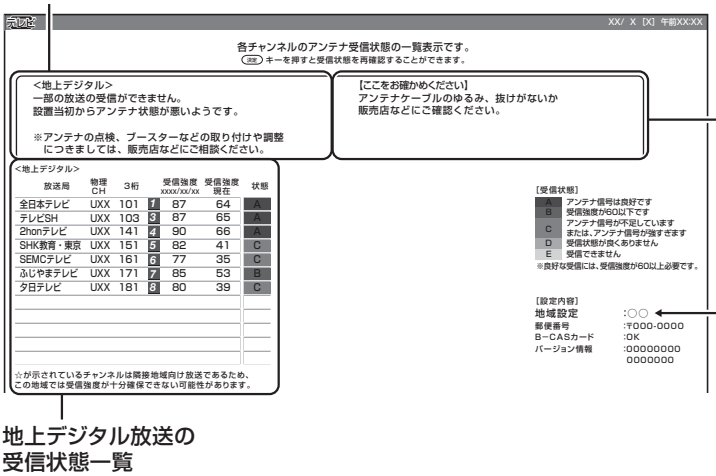
受信状態に応じた対処のしかたが表示されます。

「受信状態一覧へ」を選んだ状態で 決定 を押すと受信状態一覧画面が表示されます。

3 デジタル放送の受信強度や受信できるチャンネルなどを確認する

• 直前に視聴していた放送が一覧で表示されます。

現在の受信状態の説明



受信状態一覧で、最新の状態を表示するには

• 決定を押します。（表示が切り換わるまで時間がかかる場合があります。）

受信状態一覧の画面を消すときは

• 終了を押します。

4 確認したら、受信状態一覧の画面を消す

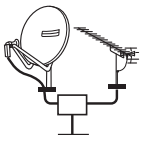
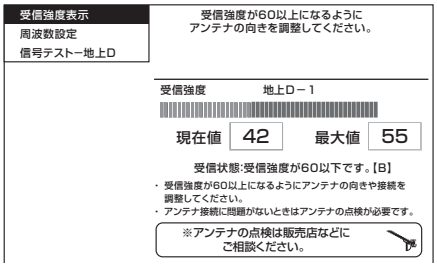
終了を押す

• 雷や降雨等により受信状態が悪くなる場合があります。アンテナとの接続については設置工事業者にお問い合わせください。

• かんたん初期設定をやり直すとき⇒ **48** ページをご覧ください。

テレビが正しく映らないときや画質が悪いときは
（[E202] と表示される）

故障ではないことがあります。
お電話をする前に、
ここをお確かめください。

こんな症状が出るときは	▶ここをお確かめください	▶参照ページ
映像も音声も出ない 	• ホームネットワーク機器の映像が見られないときは、ホームネットワーク機器の状態を確認してください。	**38～39**
映像にノイズ（モザイク状／ブロック状）や線が入ったり、ちらついたりする。 **音声が途切れる。** **映像が映らない／映らなくなる。** 	• アンテナの向きは正しいですか。 • 「受信状態：良好です。【A】」と表示されていることを確認してください。表示が異なる場合は、アンテナ受信強度に関するエラーメッセージ（⇒ **61** ページ）をご覧になり必要な処置をしてください。  	**－** **50**
画面にノイズが出る	• ホームネットワーク機器の映像が見られないときは、ホームネットワーク機器の状態を確認してください。	**38～39**
特定のチャンネルだけ映らない	• アンテナの受信強度を確認してください。	**50**

全般について

こんなときに	ここをお確かめください	ページ
 映像も音声も出ない	• 屋内開閉器（ブレーカー）が「切」になっていませんか。 • 脱衣室のテレビ用電源スイッチが「切」になっていませんか。 • POWER（電源）ランプが緑色に点灯していますか。	**53** **53** **15**
リモコンが動作しない	• POWER（電源）ランプが緑色に点灯していますか。 • 外部からの雑音や妨害ノイズが原因かもしれません。脱衣室の電源スイッチを「切」にし、約１分放置した後、再度電源スイッチを「入」にし、本機の電源を入れ直してください。 • 電池の表裏が逆になっていませんか。 • リモコンの電池が消耗していませんか。 リモコンの使用頻度により電池の消耗が早くなる場合があります。 リモコンを操作しても時々反応しなくなったときなどは、早めに新しい電池と交換してください。日立マクセル製ボタン電池（CR2032）をご使用ください。 • リモコンはリモコン受光部に向けてお使いですか。 以下の場合は、リモコンで動作しにくくなります。 • リモコンと本体のリモコン受光部との間に障害物がありませんか。 • リモコン受光部に直接日光や強い照明が当たっていませんか。 • 照明の向きを変えるなどしてみてください。 • 蛍光灯などが近くにありませんか。 • 受信設備の消耗減衰のために（映り等に影響する場合もあります）操作切換が遅くなることがあります。（天候等の環境で受信強度の数値が変動するとノイズの影響を受けます。） • 電池の端子が酸化（薄黒く）していませんか。 • 室温が極端に低下していませんか。	**15** **53** **13** **13** **—** **—**
 映像は出るが音声が出ない	• 音量調整が最小になっていませんか。 • 「消音」状態になっていませんか。 • 「設定」－「🔧（視聴準備）」－「各種設定」－「音声出力選択」が「デジタル出力」に設定されていませんか。「デジタル出力」に設定したときは本機の音量調整が働きません。 • フルデジタルサウンドシステム（デジタルスピーカー）を接続したときは、フルデジタルサウンドシステムのリモコンで音量を調整してください。 • フルデジタルサウンドシステム（デジタルスピーカー）の電源は入っていますか。	**15** **15** **25** **25** **25**
テレビ放送とホームネットワーク機器の音量が違って聞こえる	• 接続されている機器や、再生するコンテンツ等により入力される音声レベルが異なる場合があるため、音量は放送視聴、ホームネットワークで別々に設定できます。	**15**

次のページに続く

全般について

こんなときに	ここをお確かめください	ページ
音声は出るが映像が出ない	• 映像オフが「する」になっていませんか。	**30**
色が薄い 色あいが悪い	•「色の濃さ」、「色あい」は正しく調整されていますか。	**29**
画面が暗い	•「明るさ」、「映像」、「プロ設定」－「ガンマ設定」を調整してみてください。	**29**
黒色が潰れる	•「明るさ」、「黒レベル」、「プロ設定」－「ガンマ設定」を調整してみてください。	**29**
画面がちらついたりざらついたりする	•「プロ設定」の「デジタル NR」を、「オート」「強」「中」「弱」のいずれかに設定してみてください。	**29**
画面右下に「温度」または「モニター温度」の文字が点滅し、その後、自動的に電源が切れる	• 本機の温度が上昇したためです。 • 内部のホコリの除去については、お買い求めの取扱店にご相談ください。	**－** **－**
ときどき「ピシッ」と音がする	• 温度の変化により、キャビネットがわずかに伸縮する音です。性能その他に影響はありません。	**－**
時刻表示が画面に出ない	• リモコンの画面表示ボタンを繰り返し押してみてください。 •「時刻表示」の設定は「する」になっていますか。	**21** **28**
時刻表示が消えない	• リモコンの画面表示ボタンを繰り返し押してみてください。 •「設定」－「🔧（視聴準備）」－「各種設定」－「時計設定」の「時刻表示」が「する」に設定されていませんか。「しない」に設定してください。	**21** **28**
字幕表示が画面に出ない	• 放送によっては、字幕を送っていない場合があります。 • 字幕の表示方式が「表示しない」になっていませんか。	**－** **20**
電源が勝手に切れる	• 自動で電源がオフになるモードになっていませんか。受信機レポートで確認してください。	**31**
テレビ画面がくもる	• 自然現象でテレビ画面がくもることがありますが、故障ではありません。しばらくすると、自然にくもりが取れます。長時間くもりが取れない場合は、お買い求めの取扱店にご相談ください。	**－**
ホームネットワークに切り換えることができない	•「設定」－「🔧（視聴準備）」－「通信設定」－「LAN設定」が正しく設定されているか確認してください。 • DLNA サーバー機器の電源が切れていないか確認してください。なお、DLNA サーバー機器によっては電源が切れている状態でもホームネットワークを使用できる機能があります。機能の有無や設定方法については、各機器の取扱説明書をご覧ください。	**37** **－**

デジタル放送関係について

こんなときに	ここをお確かめください	ページ
 映像も音声も出ない	• その局が放送していない時間帯ではありませんか。	**—**
 • **映像にノイズ（モザイク状／ブロック状）や線が入ったり、ちらついたりする** • **音声が途切れる** • **映像が映らない／映らなくなる**	• アンテナの向きがずれていませんか。 • 受信強度を確認してください。 • 受信状態を確認してください。 • アンテナの前方に障害物はありませんか。	**—** **50・54〜55** **50・54〜55** **—**
放送が受信できない	• 地上デジタル放送の受信に必要な UHF アンテナが正しく設置されていますか。 • アンテナ線は正しく接続されていますか。アンテナとの接続については設置工事業者にお問い合わせください。 • お住まいの地域を地域選択で正しく設定していますか。 • チャンネル設定は正しくされていますか。	**—** **—** **50** **51 〜 52**
特定のチャンネルだけ映らない	• 受信強度を確認してください。	**50・54〜55**
番組表が表示されない **番組表に表示されない番組がある**	• 視聴していないチャンネルは、番組表に情報が表示されません。番組表取得を「する」に設定すると、リモコンで電源を切った（待機状態）ときに各放送チャンネルの番組表情報を取得します。 • デジタル放送を選局していますか？ • 電源を入れた後、最初に番組表を表示するときは、番組表データの受信に時間がかかります。しばらくお待ちください。	**16** **—** **—**

エラーメッセージが出たら

エラーメッセージが出たら ➡

B-CAS カードや放送の受信・視聴に関するもの

画面に表示されるエラーメッセージ例	エラーコード	対処のしかた	ページ
B-CAS カードが認識できません。 もう一度電源スイッチを入れ直してください。 電源スイッチを入れ直した後も改善しない場合は、「取扱説明書」に記載されているお客様相談窓口にお問い合わせ下さい。	＊＊＊＊	• B-CAS カードが認識できていません。脱衣室の電源スイッチを一度「切」にし再度電源スイッチを入れ直して、再度ご確認下さい。 • 電源スイッチを入れ直しても症状が改善しない場合は、お客様相談窓口にお問い合わせください。	64 67
このカードは使用できません。 正しい B-CAS カードを装着してください。	＊＊＊＊	• お客様相談窓口にご相談ください。	67
この B-CAS カードには必要な情報が有りません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	＊＊＊＊	• ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	―
放送チャンネルではないため、視聴できません。	E200	• このチャンネル（番組）は視聴できません。	―
アンテナ信号レベルが強すぎて放送が受信できません。信号レベルを調整してください。	＊＊＊＊	• アンテナ信号が強すぎるため、受信障害が発生しています。ブースターの調整や減衰器の挿入が必要です。お買い求めの取扱店などにご相談ください。	―
○○ ○○○ ch が受信できません。 リモコンで選局を確認ください。	E202	• 受信強度を確認してください。 • アンテナの設定が合っているか確かめてください。 • 雨や雪などの天候の影響で一時的に受信できない場合もあります。	50･55 50 ―
現在放送されていません。番組表などで放送時間を確認してください。 雨や雪などの天候の影響で一時的に受信できない場合もあります。	E203	• 番組表などで放送時間を確かめてください。 • 受信強度を確認してください。 • 雨や雪などの天候の影響で一時的に受信できない場合もあります。	― 50･55 ―
○○○チャンネルが見つかりません。 番組表などでチャンネルを確認してください。	E204	• 番組表などでチャンネルを確かめてください。	―
○○○チャンネルのサービスは、この受信機では受信できません。	E210	• 選局されたチャンネルとは別のチャンネルを選局してください。	―
データが受信できません。	E400	• 現在ご覧のチャンネルとは別のチャンネルをいったん選局した後、エラーが起こったデータ放送チャンネルを再度選局してください。	―

画面に表示されるエラーメッセージ例	エラーコード	対処のしかた	ページ
対象地域外のため、データを表示できません。	E401	・現在ご覧のデータ放送チャンネルを終了し、別のチャンネルを選局してください。	ー
この受信機では、データを表示できません。	E401	・現在ご覧のデータ放送チャンネルを終了し、別のチャンネルを選局してください。	ー
データの表示に失敗しました。	E402	・現在ご覧のチャンネルとは別のチャンネルをいったん選局した後、エラーが起こったデータ放送チャンネルを再度選局してください。	ー

エラーメッセージが出たら ➡

アンテナ受信強度に関するもの

画面に表示されるエラーメッセージ例	対処のしかた	ページ
受信強度が 60 以下です。【B】	・受信強度が 60 以上になるようにアンテナの向きや接続を調整してください。	**50**
アンテナ信号が強すぎます。【C】	・アンテナ信号が強すぎるため、受信障害が発生しています。ブースターの調整や減衰器の取り付けが必要です。 お買い求めの取扱店などにご相談ください。	ー
アンテナ信号が不足しています。【C】	・ブースターの調整や取り付けが必要です。 お買い求めの取扱店などにご相談ください。	ー
アンテナ信号が良くありません。【D】	・アンテナ信号が劣化しています。アンテナの接続、および調整を確認しても改善しない場合は、お買い求めの取扱店などにご相談ください。	ー
受信できません。【E】	・アンテナが正しく設置されているか確認してください。 ・アンテナ線を確認してください。アンテナとの接続については設置工事業者にお問い合わせください。 ・アンテナの設定が合っているか確かめてください。	ー ー **50**

双方向通信に関するもの

画面に表示されるエラーメッセージ例	エラーコード	対処のしかた	ページ
アクセスできませんでした。[C204]	C204	• ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	–
サーバー証明書※1が不正のため、アクセスを中断します。[C208]	C208	• ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	–
サーバー証明書※1に問題があり、アクセスを中断します。[C209]	C209	• ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	–
双方向サービスを利用するには、デジタル放送接続制限を「禁止しない」に設定してください。	＊＊＊＊	•「ネットサービス制限設定」－「デジタル放送接続制限」で「しない」を選択してください。	**37**
まだルート証明書※2 を受信していません。 セキュリティの保障ができないため、アクセスしないことをお勧めします。アクセスしますか？	＊＊＊＊	• アクセスしないことをお勧めします。	–
サーバー証明書※1の信頼性が確認できません。 セキュリティの保障ができないため、アクセスしないことをお勧めします。アクセスしますか？	＊＊＊＊	• アクセスしないことをお勧めします。	–
まだ新しいルート証明※2を受信していません。 セキュリティの保障ができないため、アクセスしないことをお勧めします。アクセスしますか？	＊＊＊＊	• アクセスしないことをお勧めします。	–

※ 1　サーバー証明書 ･･･ 暗号化通信に使われる暗号鍵。Web サーバーに保存される。有効期限が記述されており、この期間を過ぎると使用できない。

※ 2　ルート証明書 ･････ 暗号化通信に使われる復号鍵。放送波で伝送され、受信機に保存される。有効期限が記述されており、この期間を過ぎると使用できない。

ホームネットワーク利用時に関するもの

画面に表示されるエラーメッセージ例	対処のしかた
この形式の写真データは表示できません。	• 規格外の写真は表示できません。 なお、パソコンで写真を編集すると、本機で表示できない規格のデータ形式に変更される場合があります。
データの容量が大きすぎます。	• データの容量が 6MB 以下のデータとしてください。 • デジタルカメラや携帯電話の撮影時の設定で画素サイズを小さくすると、6MB 以下のデータで撮影できる場合があります。 例）4300 × 3225 ⇒ 2048 × 1536 また撮影済みのデータではデジタルカメラや携帯電話のリサイズ機能を使うと変更できる場合があります。
写真のサイズが大きすぎます。	• 画素サイズ 4096 × 4096 以下の写真にしてください。 • デジタルカメラや携帯電話の撮影時の設定で画素サイズは変更できる場合があります。 例)4300 × 3225 ⇒ 2048 × 1536 また撮影済みの写真ではデジタルカメラや携帯電話のリサイズ機能を使うと変更できる場合があります。
このデータは表示できません。	• 本機で表示可能な仕様の JPEG 以外のデータや、壊れたデータは表示できません。
次の写真を取得できません。 接続機器の接続や設定を確認してください。	• 写真取得時サーバー機器に接続できなくなっています。ホームネットワーク機器の接続設定を確認してください。また SD カードを持つサーバー機器では SD カード挿入後ホームネットワークに公開するまで時間がかかる場合がありますので、しばらくお待ちください。
接続できません。 接続機器の接続や設定を確認してください。	• サーバー機器の電源が入っているか、ホームネットワーク機器の接続設定を確認してください。また SD カードを持つサーバー機器では SD カード挿入後 SD カードの内容をホームネットワークに公開するまで時間がかかる場合がありますので、しばらくお待ちください。
写真を表示できません。 フォルダが削除されたか、機器が再起動された可能性があります。	• サーバー機器によっては、サーバー起動直後やデータの追加削除を行うと本メッセージが表示される場合があります。故障ではありません。
機器に接続できません。 接続機器選択へ移動します。	• 前回接続したサーバー機器の電源が入っているか、ホームネットワーク機器の接続設定を確認してください。
フォルダにアクセスできません。 トップフォルダへ移動します。	• サーバー機器によっては、サーバー起動直後やデータの追加削除を行うと本メッセージが表示される場合があります。故障ではありません。
接続できません。 接続機器から映像データを取得できません。	• サーバーの設定を確認してください。サーバーによっては設定画面にしていると取得できない場合があります。
再生できません。 この形式の映像データは再生できません。	• 規格外の映像データは再生できません。 • 本機で再生できる映像データの形式か確認してください。
再生できません。 この形式の音楽データは再生できません。	• 規格外の音楽データは再生できません。 • 本機で再生できる音楽データの形式か確認してください。
データを取得できません。 フォルダが削除されたか再起動された可能性があります。 初期画面に戻ります。	• メモリーモードを実行する際、前回再生したファイルが削除されたり、サーバーが再起動されたなどにより、データを取得できない場合に表示されます。初期画面よりご利用ください。
接続できません。 接続機器の接続や設定を確認してください。 初期画面に戻ります。	• メモリーモードを実行する際、前回接続したサーバーが起動されていないなどにより、接続できない場合に表示されます。初期画面よりご利用ください。

こんなときは

本機の操作が できなくなったときは

- 強い外来ノイズ（過大な静電気、または落雷による電源電圧の異常など）を受けた場合や誤った操作をした場合などに、本機が操作できないなどの異常が発生することがあります。
- このときは、リモコンの電源ボタンを押して、一旦電源を切ったあと、再度電源を入れてから、操作をやり直してください。
- 電源を入れ直してもまだ操作できないときは、リモコンの電源ボタン（⇒ **12** ページ）を５秒以上押し続けてから離してください。本機のシステムがリセットされますので、再度電源ボタンを押して電源を入れたあと、再び操作をやり直してください。この操作をしてもチャンネル設定やメニュー、予約などの設定項目は保持されます。

◇**おしらせ**◇

- 再度電源を入れた直後はデータ取り込みのため、画面表示には多少時間がかかります。

システム動作テスト

- 本機は、B-CAS カードが正しく認識できているか、問題がないか等をテストできます。

1 **ホームメニューを表示して、「設定」－「✉(お知らせ)」－「システム動作テスト」を選ぶ**

2 **「テスト実行」で決定する**

表示が「テスト実行中」に変わります。テストが終了すると「テスト終了」になります。

3 **結果を確認し、「テスト終了」で決定する**

操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

おもな仕様について

品名		浴室テレビ
形名		BTV-3200D-1（テレビ本体）
液晶パネル	表示サイズ	32V型（横69.8cm×縦39.2cm／対角80.0cm）
	駆動方式	TFT（薄膜トランジスタ）アクティブマトリクス駆動方式
	画素数	1,366（水平）×768（垂直） 画素
	使用光源	LED
アンテナ入力		地上デジタル 75Ω不平衡型
音声実用最大出力（JEITA）		8W （4W+4W）
使用電源		AC100V・50/60Hz（DC19V）
消費電力		39W※2 /33W※3（待機時：0.3W※2、クイック起動「する」時：12W※2）
年間消費電力量		・区分名：DN（FHD以外、液晶ノーマル、付加機能なし） ・受信機型サイズ：32V ・年間消費電力量：52kWh／年（標準時※1）
接続端子		アンテナ入力地上デジタル端子、LAN1系統1端子（10BASE-T/100BASE-TX）、同軸デジタル音声出力端子1系統、USB端子1系統（サービス用）
受信チャンネル		地上デジタル（ワンセグを除く）011～528ch （CATVパススルー対応）
地上デジタルチャンネル受信仕様	変調	直交周波数分割多重（OFDM）
	トランスポート	MPEG2 システム
	映像	MPEG2 （MP@HL）
	音声	MPEG2 AAC
	限定受信システム	ARIB CASシステム
	受信周波数帯域	93MHz～767MHz
	CATVパススルー対応	UHF帯、ミッドバンド（MID）帯、スーパーハイバンド（SHB）帯、VHF帯
外形寸法		幅78.0×奥行4.8×高さ50.4（cm）
本体質量		約15kg
使用温度（浴室内）		0℃～45℃

品名	浴室テレビ
形名	BTV-3200D-2（電源ボックス）
入力	AC100V、1.5A・50/60Hz
出力	DC19V、3A
外形寸法	幅15.0×奥行29.2×高さ6.1（cm）
質量	約1.0kg

■ 製品改良のため仕様の一部を予告なく変更することがあります。
■ 表示サイズの「××V型」は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。
■ 液晶パネルは非常に精密度の高い技術でつくられており、99.99%以上の有効画素があります。0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがありますが故障ではありません。
■ JIS C 61000-3-2適合品
JIS C 61000-3-2適合品とは、日本工業規格「電磁両立性-第3-2部：限度値－高調波電流発生限度値（1相当たりの入力電流が20A以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。
■ 年間消費電力量とは：省エネ法に基づいて、型サイズや受信機の種類別の算定式により、一般家庭での平均視聴時間（4.5時間）を基準に算出した、一年間に使用する電力量です。
■ 年間消費電力量の区分名とは：「エネルギーの使用の合理化に関する法律（省エネ法）」では、テレビの画素数、表示素子、動画表示、及び付加機能の有無等に基づいた区分を行なっています。その区分名称を言います。
※1 一般的にご家庭で使用する際のメーカー推奨の映像モード。（本機では、AVポジション「標準」の場合です）
※2 電源ボックス「BTV-3200D-2」使用時
※3 DC19V駆動時

保証とアフターサービス

よくお読みください

保証書(別添)

■ 保証書は、「取付日・取扱店」等の記入をお確かめのうえ、お買い求めの取扱店から受け取ってください。保証書は内容をよくお読みの後、大切に保存してください。

■ **保証期間**
取付日から２年間です。
保証期間中でも、有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
※ 本機を分解すると、保証が無効になります。

使い方や修理のご相談など

■ 修理・使い方・お手入れ・お買い物などのご相談・ご依頼、及び万一、製品による事故が発生した場合は、お買い求めの取扱店、またはお客様相談センターにお問い合わせください。(⇒**次**ページ)

補修用性能部品の保有期間

■ 当社は、浴室テレビの補修用性能部品を、製品の製造打切後、８年保有しています。
■ 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは　出張修理

■「故障かな？と思ったら」「エラーメッセージが出たら」(⇒ **53** ～ **63** ページ) を調べてください。
■ SHARP オンラインサポートページの「Q&A よくあるご質問」や「故障診断ナビ」でも確認できます。

SHARP オンラインサポート：http://www.sharp.co.jp/support/

■ それでも異常があるときは、使用をやめて、必ず電源スイッチを切ってから、お買い求めの取扱店にご連絡ください。

ご連絡していただきたい内容

- 品　　名 ：浴室テレビ
- 形　　名 ：BTV-3200D
- 取付日(年月日)
- 故障の状況(できるだけくわしく)
- ご　住　所
  (付近の目印もあわせてお知らせください)
- お　名　前
- 電話番号
- ご訪問希望日

便利メモ　お客様へ…取付日･取扱店名を記入されると便利です。

取付日	取扱店名
年　月　日	電話（　　）　—

保証期間中

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って無料修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

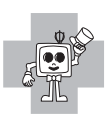
技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

愛情点検

●長年ご使用のテレビの点検をぜひ！（熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。）

このような症状はありませんか	ご使用中止
●電源を入れても、映像や音が出ない。 ●上下、または左右の映像が欠けて映る。 ●映像が時々、消えることがある。 ●変なにおいがしたり、煙が出たりする。 ●電源を切っても、映像や音が消えない。 ●内部に水や異物が入った。	**故障や事故防止のため、電源ボタンを押して電源を切り、脱衣室の電源スイッチを「切」にして、必ず取扱店にご相談ください。**

ちょっとした心づかいでテレビの安全



お客様ご相談窓口のご案内

修理・使いかた・お手入れ・お買い物などのご相談・ご依頼、および万一、製品による事故が発生した場合は、お買い求めの取扱店、または下記窓口にお問い合わせください。
ファクシミリ送信される場合は、製品の形名やお問い合わせ内容のご記入をお願いいたします。

※弊社では、確実なお客様対応のため、フリーダイヤル・ナビダイヤルサービスをご利用のお客様に「発信者番号通知」をお願いしています。発信者番号を非通知に設定されている場合は、番号の最初に「186」をつけておかけください。

いつでも便利なWebサービス【SHARPオンラインサポート】

スマートフォンからでもご利用いただけます

ご質問、お困りごとは、気軽にアクセス、しっかりアシスト!

SHARP オンラインサポート　シャープ　お問い合わせ　検索

http://www.sharp.co.jp/support/

スマートフォンからでもご利用いただけます

修理のご依頼、修理状況の確認、キャンセルも24時間OK

インターネットから修理のお申し込み　シャープ　修理受付　検索

http://www.sharp.co.jp/support/repair.html

■取説に掲載のQRコードから誘導されるサイトについてご注意事項があります。本書の裏表紙をご確認ください

■製品の「よくあるご質問」への回答を24時間音声ガイダンスでご案内(電話オペレーターにはつながりません)
自動音声案内 フリーダイヤル（携帯電話からもご利用いただけます）　0120 - 001 - 252

使用方法や修理のご相談は

おかけ間違いのないようにご注意ください。

シャープ株式会社　お客様相談センター

受付時間（年末年始を除く）●月曜～土曜: **9:00～18:00**　●日曜・祝日: **9:00～17:00**

固定電話、PHSからは、フリーダイヤル
0120 - 001 - 251

携帯電話からは、ナビダイヤル
0570 - 550 - 113

■フリーダイヤル・ナビダイヤルがご利用いただけない場合は…

電 話	FAX
043 - 331 - 1626	**043 - 297 - 2696**
〒261-8520　千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2	

システムバスルームや取り付けに関するご相談は

おかけ間違いのないようにご注意ください。

株式会社 LIXIL お客さま相談センター

0120 - 179 - 400
携帯・PHS OK
非通知設定の電話は、最初に「186」をつけておかけください。

受付時間　●月曜 ～ 金曜: **9:00～18:00**
●土曜・日曜・祝日: **9:00～17:00**
（ゴールデンウイーク・夏季・年末年始の休みは除く）

■フリーダイヤルサービスをご利用いただけない場合は…

TEL. 0562-40-4050

●所在地・電話番号・受付時間などについては、変更になることがあります。(2014.8)
●お電話は番号をよくお確かめのうえ、お間違いのないようにおかけください。

本機で使用している特許など

本機で使用しているソフトウェアのライセンス情報

ソフトウェア構成

本機に組み込まれているソフトウェアは、それぞれ当社または第三者の著作権が存在する、複数の独立したソフトウェアコンポーネントで構成されています。

当社開発ソフトウェアとフリーソフトウェア

本機のソフトウェアコンポーネントのうち、当社が開発または作成したソフトウェアおよび付帯するドキュメント類には当社の著作権が存在し、著作権法、国際条約およびその他の関連する法律によって保護されています。
また本機は、第三者が著作権を所有しフリーソフトウェアとして配布されているソフトウェアコンポーネントを使用しています。それらの一部には、GNU General Public License（以下、GPL）、GNU Lesser General Public License（以下、LGPL）、またはその他のライセンス契約の適用を受けるソフトウェアコンポーネントが含まれています。

ソースコードの入手方法

フリーソフトウェアには、実行形式のソフトウェアコンポーネントを配布する条件として、そのコンポーネントのソースコードの入手を可能にすることを求めるものがあります。GPL および LGPL も、同様の条件を定めています。こうしたフリーソフトウェアのソースコードの入手方法ならびに GPL、LGPL およびその他のライセンス契約の確認方法については、以下の WEB サイトをご覧ください。
http://www.sharp.co.jp/support/aquos/source/download/index.html（シャープ GPL 情報公開サイト）
なお、フリーソフトウェアのソースコードの内容に関するお問合わせはご遠慮ください。
また当社が所有権を持つソフトウェアコンポーネントについては、ソースコードの提供対象ではありません。

謝辞

本機には以下のフリーソフトウェアコンポーネントが組み込まれています。

linux kernel
module-init-tools
glibc
DirectFB
OpenSSL
XMLRPC-EPI
Expat
Simple IPv4 Link-Local address
util-linux
coreutils
jpeg
LVM2
bash
libncurses

本機で使用しているソフトウェアのライセンス表示

ライセンス表示の義務

本機に組み込まれているソフトウェアコンポーネントには、その著作権者がライセンス表示を義務付けているものがあります。そうしたソフトウェアコンポーネントのライセンス表示を、以下に掲示します。

BSD License

This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
この製品にはカリフォルニア大学バークレイ校と、その寄与者によって開発されたソフトウェアが含まれています。

OpenSSL License

Copyright (c) 1998-2008 The OpenSSL Project. All rights reserved.
Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment: "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)"
4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.
5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.
6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment: "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES;
LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT,

STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.
This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

SSLeay License

Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com)
All rights reserved.
This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).
The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are aheared to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed.
If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used. This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.
Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: "This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)" The word 'cryptographic' can be left out if the rouines from the library being used are not cryptographic related :-).
4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement: "This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The licence and distribution terms for any publically available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence
[including the GNU Public Licence.]

XMLRPC-EPI

Copyright: (C) 2000 Epinions, Inc.
Subject to the following 3 conditions, Epinions, Inc. permits you, free of charge, to (a) use, copy, distribute, modify, perform and display this software and associated documentation files (the "Software"), and (b) permit others to whom the Software is furnished to do so as well.

1) The above copyright notice and this permission notice shall be included without modification in all copies or substantial portions of the Software.

2)THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT ANY WARRANTY OR CONDITION OF ANY KIND, EXPRESS, IMPLIED OR STATUTORY, INCLUDING WITHOUT LIMITATION ANY IMPLIED WARRANTIES OF ACCURACY, MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE OR NONINFRINGEMENT.

3)IN NO EVENT SHALL EPINIONS, INC. BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR LOST PROFITS ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE (HOWEVER ARISING, INCLUDING NEGLIGENCE), EVEN IF EPINIONS, INC. IS AWARE OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

次のページに続く

Expat

Copyright (c) 1998, 1999, 2000 Thai Open Source Software Center Ltd and Clark Cooper Copyright (c) 2001, 2002, 2003 Expat maintainers.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining
a copy of this software and associated documentation files (the"Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish,
distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included
in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND,
EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT.
IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Free Type 2 font engine

Portions of this software are copyright © 1996-2010 The FreeType Project (www.freetype.org). All rights reserved.

This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.
この製品に搭載のソフトウェアは、Independent JPEG Group のソフトウェアを一部利用しております。

MP3 は Fraunhofer IIS および Thomson からライセンスされた MPEG Layer-3 音声コーディング技術です。

Portions Copyright© 2004 Intel Corporation
この製品には Intel Corporation のソフトウェアを一部利用しております。

「DiXiM」は、デジオンのホームネットワークソリューションです。詳しくは、デジオン Web サイト（http://www.digion.com/）をご覧ください。

Ubiquitous SAFE DTCP-IP
Copyright© 2001-2012 Ubiquitous Corp
この製品には株式会社ユビキタスが開発した DTCP-IP 対応ソフトウェアを使用しております。

この製品では、シャープ株式会社が表示画面で見やすく、読みやすくなるように設計した LC フォント（複製禁止）が搭載されております。LC フォント、LCFONT、エルシーフォント及び LC ロゴマークはシャープ株式会社の登録商標です。なお、一部 LC フォントでないものも使用しています。

商標・登録商標など

・本機は、ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
・Dolby、ドルビー及びダブル D（DD）記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。

用語の解説

1080p、720p、1080i、480p、480i

映像の種類	画質（放送の種類）
1080p	走査線 1125 本（有効走査線 1080 本）、プログレッシブ方式。 デジタルハイビジョンの高画質です。
720p	走査線 750 本（有効走査線 720 本）、プログレッシブ方式。 デジタルハイビジョンの高画質です。
1080i	走査線 1125 本（有効走査線 1080 本）、インターレース方式。 デジタルハイビジョンの高画質です。
480p	走査線 525 本（有効走査線 480 本）、プログレッシブ方式。 デジタルハイビジョンに近い画質です。
480i	走査線 525 本（有効走査線 480 本）、インターレース方式。 地上アナログ放送（VHF/UHF）やBS アナログ放送と同等の画質です。

16:9

デジタルハイビジョン放送の画面縦横比です。従来の4:3映像に比べ、視界の広い臨場感のある映像が楽しめます。

AAC（Advanced Audio Coding）

デジタル放送は、限られた電波を有効利用するため、映像や音声などを圧縮してから送信されます。
AACはデジタル放送で利用されている音声圧縮方式で、圧縮率が高いにもかかわらず、高音質で多チャンネル音声（5.1チャンネルサラウンドなど）にも対応できる方式です。

EPG（Electronic Program Guide）

デジタル放送で送られてくる番組情報のデータを使って画面で見られるようにした電子番組表のことです。
本機では、電子番組表から番組を選んで選局や録画予約をすることができます。

MPEG（Moving Picture Experts Group）

デジタル放送の信号は大容量のため、圧縮技術が必要です。MPEGは、デジタル動画圧縮技術の符号化方式の1つです。一般に「エムペグ」と読みます。MPEG2は、「動き補償」「予測符号化」などの技術を使って画像データを圧縮するもので、圧縮レートは画像の内容により可変ですが、だいたい40分の1に圧縮することができます。

PCM（Pulse Code Modulation）

音楽CDやDVDビデオなどは、音声がデジタルデータで記録されています。音楽CDで利用されているPCMは、音声などを数値に変換してデジタルデータにする方式のひとつです。圧縮を行わないので、原音に近い高品質な音を再現できます。

インターレース（飛び越し走査）

テレビやビデオの画像表示では、有効走査線のうち、まず奇数番めの有効走査線を描きます（この1画面を1フィールドといいます）。次に偶数番めの有効走査線を描きます。これで、1枚の完全な画像（フレーム）を作っていく方式です。「480i」「1080i」の「i」はインターレース（interlaced）を表します。

高画質アクティブコンディショナー

見ている映像に応じて自動的にコントラストや色を調整し、ノイズを低減してみやすい映像が楽しめます。
映像調整ープロ設定のアクティブコントラストー「する」、デジタルNRー「オート」のときに有効です。
（⇒**29**ページ）

ハイビジョン放送

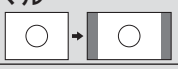
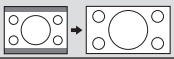
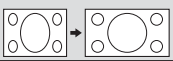
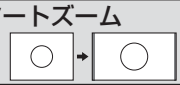
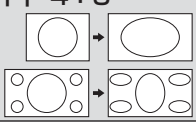
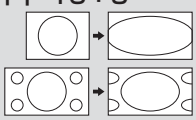
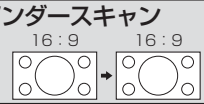
デジタルハイビジョンの高画質放送のことです。従来の地上アナログテレビ放送が480本の有効走査線で表示しているのに対し、デジタルハイビジョン放送は720本や1080本の有効走査線を使用しているため、より緻密で高画質な映像を楽しめます。BSデジタル放送では、番組によって「デジタルハイビジョン映像」と「デジタル標準映像」という異なる画質で放送されています。

プログレッシブ（順次走査）

飛び越し走査（「インターレース」の項を参照）をしないで、すべての走査線を順番どおりに描く方法です。480pの場合、480本の有効走査線を順番どおりに描きます。インターレース方式に比べ、チラツキのないことが特徴で、文字や静止画を表示するときなどに適しています。「480p」「720p」の「p」はプログレッシブ（progressive）を表します。

画面サイズ切換の設定項目

映像の種類によって、選べる画面サイズは異なります。

項目	内容
ノーマル 	通常のテレビ（4：3サイズ）の映像をそのまま映します。
シネマ 	シネスコまたは16：9サイズの映画ソフトを画面いっぱいに映します。
フル 	16：9から4：3に圧縮された映像を元の16：9に戻して画面いっぱいに映します。
スマートズーム 	通常4：3映像をより自然に拡大して映します。
ワイド4：3 	通常4：3映像を画面いっぱいに映します。 16：9映像の場合はこのように映ります。
ワイド16：9 	通常4：3映像の中央部を左右に拡大して映します。 通常16:9映像の中央部(4:3)を画面いっぱいに映します。入力信号が16：9で左右に黒帯の付いている映像を画面いっぱいに映したいときに便利です。
アンダースキャン 	入力信号どおりの映像で映します。

索引

・本体およびリモコンの「各部のなまえ」については、
⇒ **12** ページをご覧ください。

英数字・記号

AVポジション 29
AVメモリー 29
B-CASカード ....10・11
Language(言語) 75
LAN設定 37
POWER(電源)ランプ ....12・15

あ行

アイコン一覧(番組表) 16
明るさ 29
アクティブコントラスト 29
暗証番号設定 28
安心・省エネ 30
アンテナ設定 28
色あい 29
色温度(映像調整) 29
色の濃さ 29
映画(AVポジション) 29
映像 29
映像オフ 30
映像切換 19
映像調整 29
枝番 51
オートボリューム 29
お知らせ 30
お知らせタイマー 31
お手入れのしかた 8
オフタイマー 23
おやすみタイマー 24
音声切換 19
音声出力選択 28
音声調整 29
「温度」の文字点滅表示 58

か行

各種設定 28
画質 29
画面位置 30
画面サイズ 71
画面表示設定 ....26・30
画面表示(チャンネルサイン) ....19・21
カラーマネージメント(色相・彩度・明度) 29
かんたん初期設定 48
ガンマ設定 29
キーワード検索 17
機能切換 30
機能メニュー(番組表) 17
クイック起動設定 28
黒レベル 29
高音 29
声の聞きやすさ 29
個人情報初期化 29

さ行

サブチャンネル設定 17
サラウンド 29
時刻設定 28
時刻表示 28
システム動作テスト 64
視聴準備 28
視聴操作 30
視聴年齢制限設定 28
字幕(切換)／字幕表示 ....20〜21
ジャンル検索 17
受信強度 50
受信機レポート 30
仕様 65
消音 15
使用温度 58
垂直位置 30
水平位置 30
スキップ設定 52
スキップ(チャンネル) 52
設定 28
選局 15
選局効果 30
双方向通信 ....36・37
ソフトウェアキーボード ....34〜35

た行

ダイナミック 29
タイマー機能 ....23〜24
ダウンロード設定 28
ダウンロードのお知らせ 30
地域設定 50
地上デジタル放送 47
チャンネル ....15・16〜17・27
チャンネルサイン(画面表示) ....19・21
チャンネル設定 51
チャンネル番号(3桁) 16
ツール ....27・31

通信設定.....37
低音.....29
データ放送.....22･47
デジタルNR.....29
テレビ放送設定.....50･51
テレビ／ラジオ／データ.....31
電源(POWER)ランプ.....12･15
電源の入／切.....15
電池の入れかた.....13
時計設定.....28
時計タイプ.....28

な行

二重音声.....19
日時移動.....17
入力切換.....41
ネットサービス制限設定.....37

は行

ナイト(AVポジション).....29
バランス.....29
番組詳細検索.....17
番組情報.....19
番組表.....16
番組表取得設定.....17
番組表(予約).....16･27
番組名表示.....30
表示言語.....20
表示順設定(番組表).....17
表示方式(字幕表示).....20～21
標準(AVポジション).....29
フィルムモード.....29
フォト(AVポジション).....29
ブロードバンドルーター.....38～39
プロ設定.....29
放送局メッセージ.....30
ホームネットワーク.....36･38
ホームメニュー.....26
保証とアフターサービス.....66

ま行

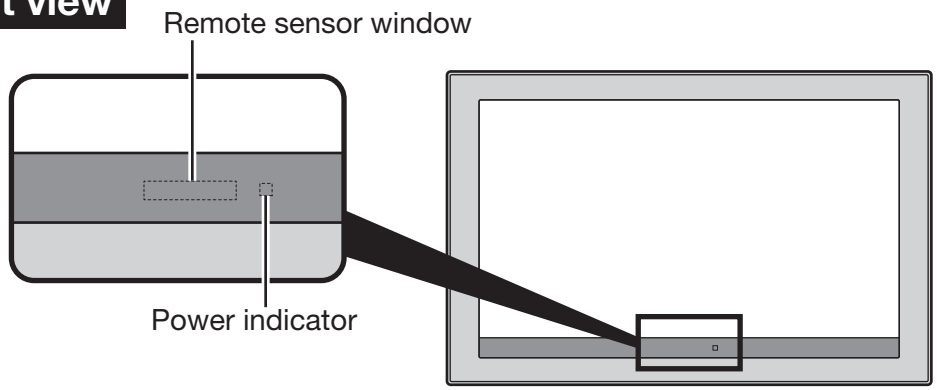
マルチ音声番組.....19
無信号オフ.....30
無操作オフ.....30
メディア(テレビ／ラジオ／データ).....31
文字サイズ(ホームメニュー).....26
文字サイズ設定.....17
文字スーパー表示.....30
文字入力のしかた.....34
「モニター温度」の文字点滅表示.....58
モノクロ.....29

ら行

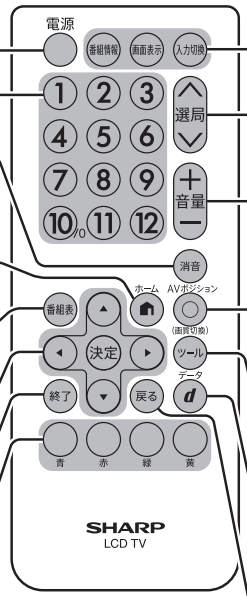
リモコン.....12･13
リセット.....64
臨時放送(臨時編成サービス).....47
連動データ放送.....22

English Guide
Part Names

Front view



Remote Control Unit



電源
Active/Standby
Press to engage the TV set in the active or standby mode.

Channel select
- Press to select a channel.
  Use to input a number for various settings.

消音 **Mute**
Press to mute audio.

ホーム **Display the"Home"Menu**
Press to start some useful operations of the TV.

番組表 **EPG**
Press to display or turn off the Electronic Program Guide (EPG: **番組表**) when receiving a digital broadcast.

Cursor (up, down, left, right)
Use to select a menu item, column, etc.

決定 **Enter/Confirm**
Press to confirm a selected setting or menu item.

終了 **Finish**
Press to finish menu operation, etc.

青 赤 緑 黄 **Color**
Use to operate EPGs and data program screens.

番組情報 **Program info**
Press to display detailed information on the current digital program.

画面表示 **Display**
Press to display or turn off the channel call, etc.

入力切換 **Input select**
Press to select the input.

選局 **Channel up (∧)/down (∨)**
Press to select channels in the ascending or descending order.

音量 **Volume up (+)/down (-)**
Press to adjust the volume.

AVポジション (画質切換) **AV position (Changing Pic. Quality) select**
Press to select the picture/sound setting that best matches the current program.

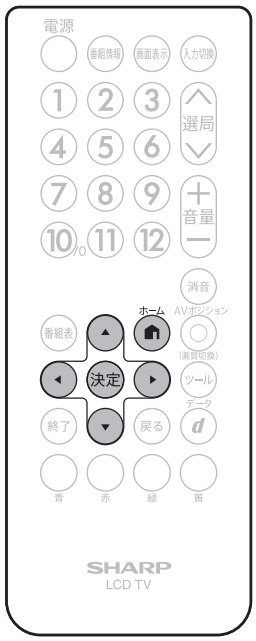
ツール **Display the Tool Menu**

データ d **Linked data broadcast**
Press to call the data broadcast linked with the current digital TV program.

戻る **Return**
Press to go back to the previous screen.

Switching the Display Language to English
ホームメニューなどの言語を英語にする

- Using the Home menu screen, you can switch the on-screen display language to English.
  ホームメニューなどの画面表示を英語にすることができます。



1 Press ホーム and select with

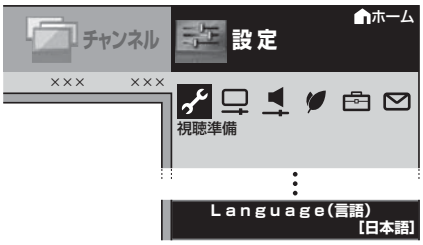
Select“設定”(Setup) on the Home menu.
ホームメニューから「設定」を選ぶ

2 Select with

Select“🔧(視聴準備)”(View Setting).
「🔧(視聴準備)」を選ぶ

3 Select with Press 決定

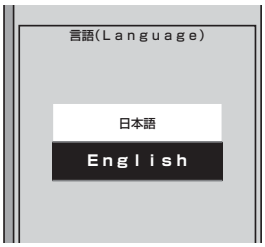
Select “Language(言語)”.
「Language(言語)」を選ぶ



4 Select with Press 決定

Select “English”.
「English」を選ぶ

Enter.
決定する



- The menu screen is now displayed in English.
- 画面表示が英語になります。

5 Press ホーム

Finish this operation.
終了する

◇おしらせ◇

誤ってホームメニューを英語にしてしまったときは

- ホームメニューから「Setup」－「🔧(View Setting)」－「言語(Language)」を選んで決定し、「日本語」を選んで決定すると日本語になります。

製品登録のお願い

オンラインでの各種サポートサービスをご利用いただくために、〈SHARP i CLUB〉でご愛用製品の登録をお願いいたします。(登録無料)

http://iclub.sharp.co.jp/m/

スマートフォンや携帯電話はこちらから

http://www.sharp.co.jp/support/

■浴室テレビの接続・故障診断などはこちら。

お問い合わせ先

お問合わせの前にもう一度「故障かな?と思ったら」(**53** ページ)「こんなときは」(**64** ページ) をご確認ください。

いつでも便利なWebサービス【SHARPオンラインサポート】

スマートフォンからでもご利用いただけます

ご質問、お困りごとは、気軽にアクセス、しっかりアシスト!

SHARP オンラインサポート シャープ　お問い合わせ 検索

http://www.sharp.co.jp/support/

スマートフォンからでもご利用いただけます

修理のご依頼、修理状況の確認、キャンセルも24時間OK

インターネットから修理のお申し込み シャープ　修理受付 検索

http://www.sharp.co.jp/support/repair.html

いつでも便利な自動音声案内ダイヤルサービス

自動音声

製品の「よくあるご質問」への回答を、24時間音声ガイダンスでご案内しております。

自動音声案内 フリーダイヤル(携帯電話からもご利用いただけます)

0120 - 001 - 252 (電話オペレーターにはつながりません)

●お客様ご相談窓口

固定電話・PHSからはフリーダイヤル **0120-001-251**

携帯電話からはナビダイヤル **0570-550-113**

※フリーダイヤル・ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、043-331-1626

〈受付時間〉(年末年始を除く)
○月曜日～土曜日：午前9時～午後6時
○日曜日・祝日：午前9時～午後5時

※非通知設定の電話は、最初に「186」をつけておかけください。詳しくは、取扱説明書の **67** ページをご覧ください

■取説に掲載のQRコードから誘導されるサイトについてのご注意　(QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。)

●当サイトおよび動画の視聴は無料ですが、通信料金はお客様のご負担となります。パケット定額サービスにご加入でないお客様は、高額になる可能性がございますのでご注意ください。

●スマートフォンにより、QRコード読み取りアプリケーションが必要となる場合があります。また、通信状況、機種、QRコード読み取りアプリケーションの種類、OSのバージョンによっては正常に動作しない場合があります。詳しくは、お使いの携帯電話会社にお問い合わせください。
アプリケーションのダウンロードに際して、万一お客様に損害が生じたとしても、当社は何ら責任を負うものではありません。

●当社は、当サイト上のコンテンツやURLを予告なく変更、もしくは削除することがあります。

販　売　株式会社 LIXIL　〒100-6036　東京都千代田区霞が関 3 丁目 2 番 5 号霞が関ビルディング 36 階

製造元　シャープ株式会社　本　社　〒545-8522　大阪市阿倍野区長池町 22 番 22 号

GPU-0403（14090）

PRINTED WITH SOY INK　アメリカ大豆協会認定の大豆油インキを使用しています。
この取扱説明書は再生紙を使用しています。

日本製

TINS-G255WJZZ
14P08-JA-IK